

3-2. 幸田町の交通概況

3-2-1. 道路交通

(1) 道路の現況

①主要な道路網

幸田町の道路網は、国道 23 号名豊道路や国道 248 号を始めとした広域交通網を骨格として、都市間を結ぶ県道、生活に密着した町道が配置されています。

【国道】

- ・国道としては、南北軸となる国道 248 号が 4 車線で供用されています。また東西軸としては、地域高規格道路名豊道路があり暫定 2 車線で幸田芦谷 I C まで供用されており、現在蒲郡バイパスが整備中です。
- ・また、名豊道路には道の駅が整備されています。

【県道】

- ・県道としては、南北方向の路線として県道岡崎幸田線、幸田石井線、生平幸田線、美合幸田線等があり、東西方向の路線として主要地方道安城幸田線、西尾幸田線、県道芦谷蒲郡線等があります。

【町道】

- ・町道は総実延長が約 417km であり、舗装率は 74.8%となっています。

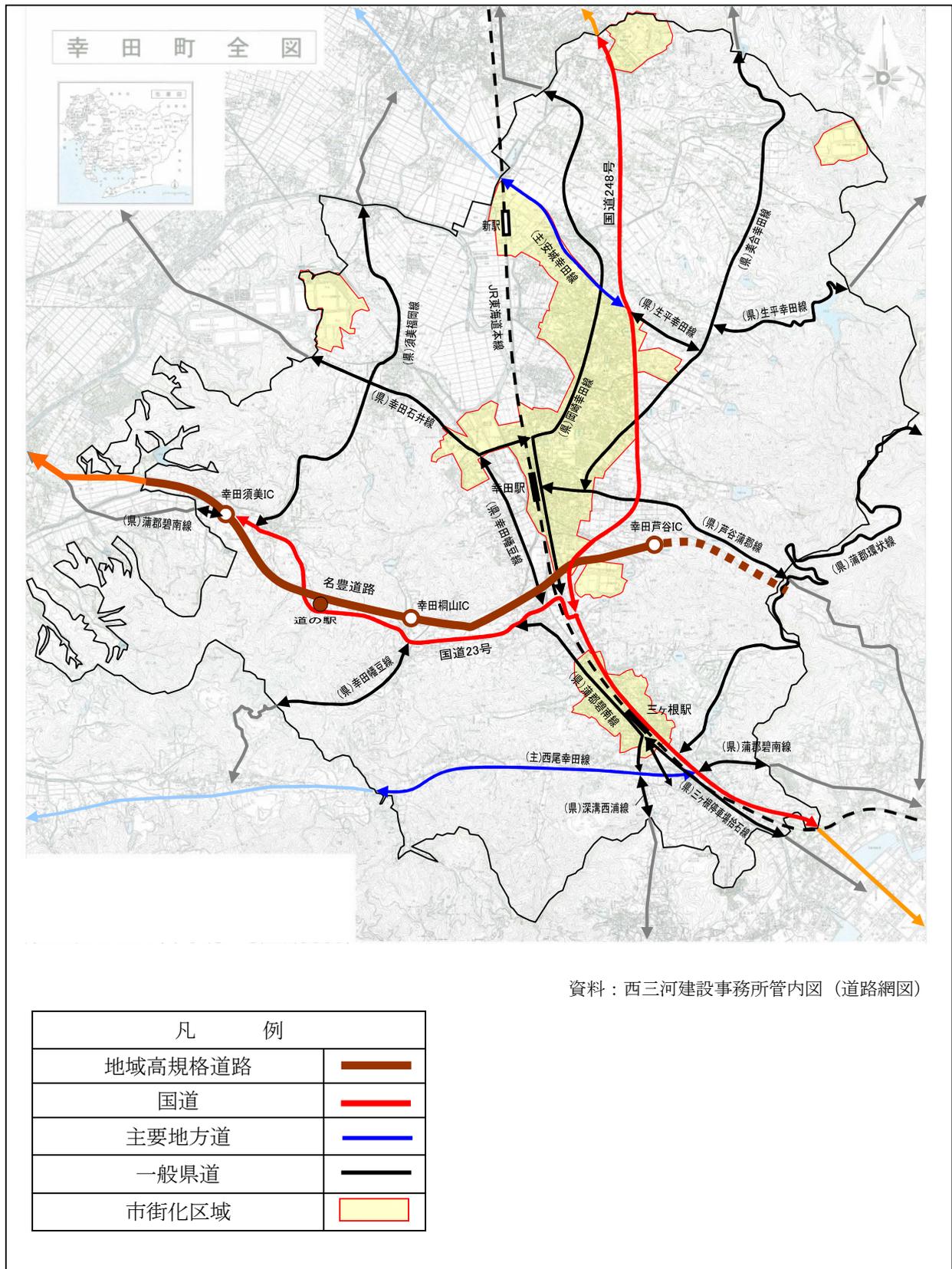
■道路の整備率

平成 18 年 4 月 1 日現在

種 別	愛知県 (km)	割合 (%)	本町の延長 (km)	割合 (%)
高速自動車国道	207.3	0.4	—	—
国道	1,311.4	2.7	16.9	3.5
県道	4,277.7	8.7	47.1	9.8
市町村道	43,432.9	88.2	417.2	86.7
合 計	49,229.3	100.0	481.2	100.0
舗装延長	44,087.3	90.0	376.1	78.2

資料：愛知県統計年鑑（平成 19 年度刊）

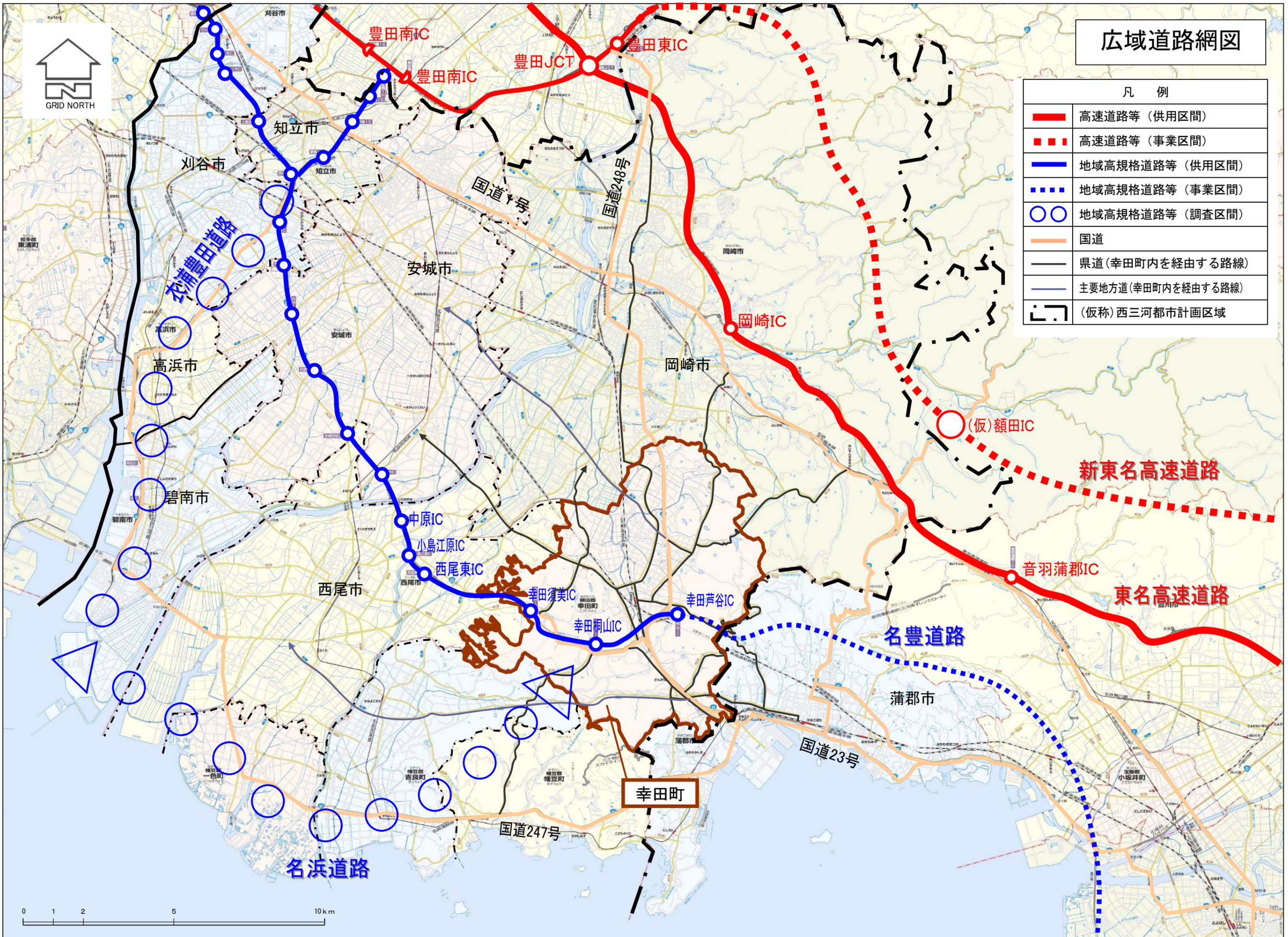
3. 都市及び都市交通の特性の整理



■ 国・県道網図

広域道路網図

凡 例	
	高速道路等（供用区間）
	高速道路等（事業区間）
	地域高規格道路等（供用区間）
	地域高規格道路等（事業区間）
	地域高規格道路等（調査区間）
	国道
	県道（幸田町内を經由する路線）
	主要地方道（幸田町内を經由する路線）
	（仮称）西三河都市計画区域

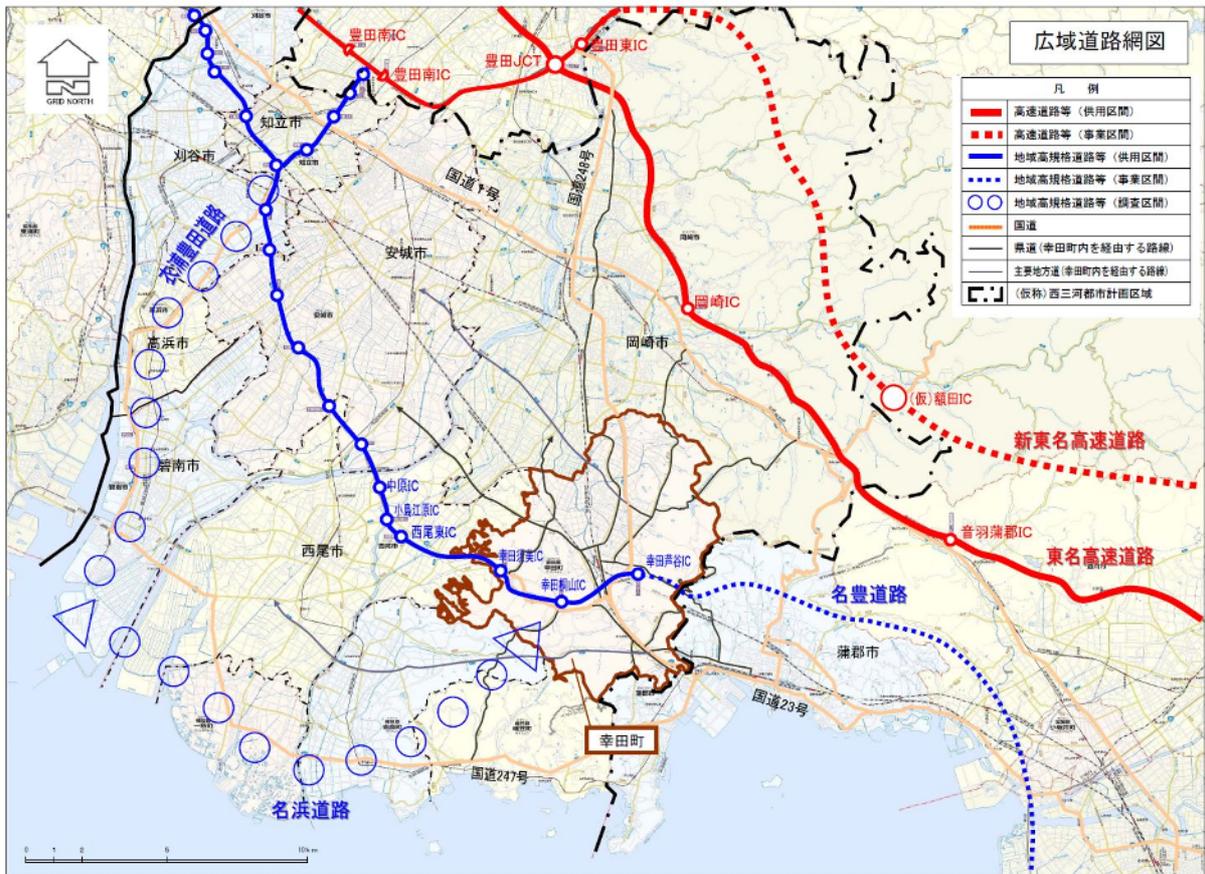


(2) 道路の計画及び整備状況

① 広域的道路

幸田町周辺の広域交通道路として高速道路と地域高規格道路の整備状況及び計画を以下に示します。

「地域高規格道路」は高速道路に代表される「高規格幹線道路」を補完する道路であり、高規格幹線道路に次ぐ速度サービスを提供します。高速道路から地域発展の核となる都市圏や空港・港湾等へ連絡する道路など地域における自立的発展のポテンシャルを向上させる道路です。



■周辺の広域交通道路の計画及び整備状況

3. 都市および都市交通の特性の整理

i) 新東名高速道路

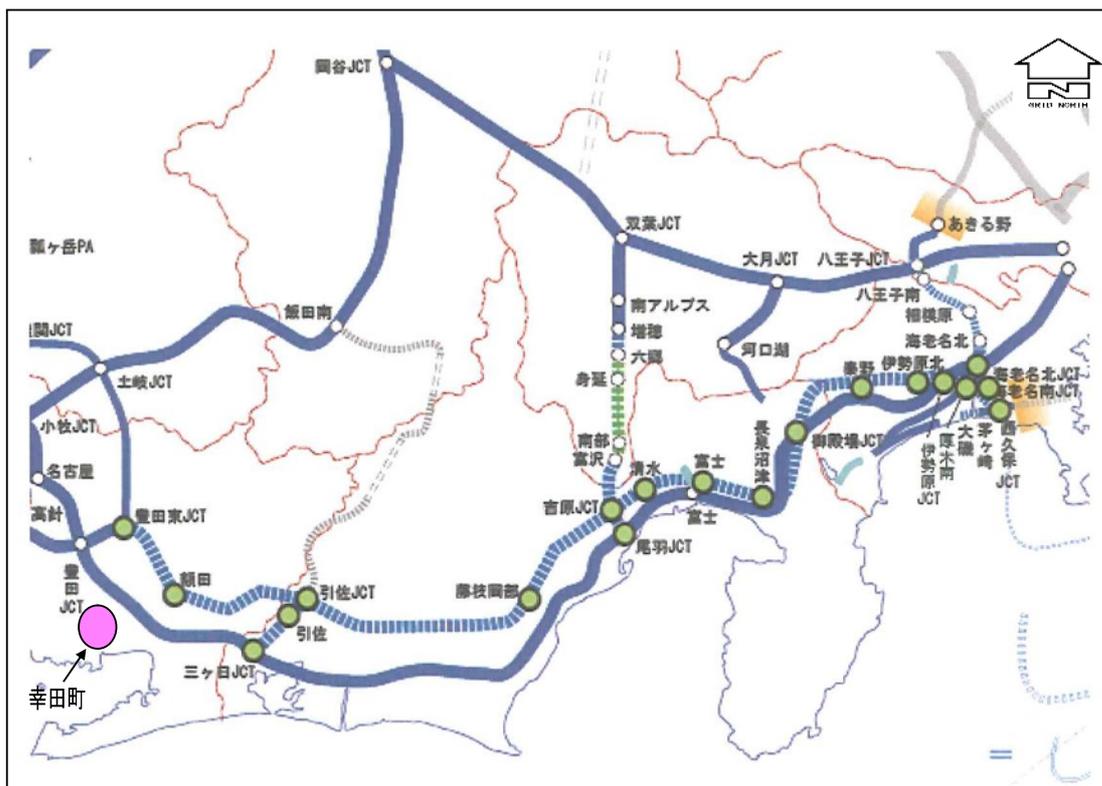
現在、新東名高速道路の工事が進んでいるところであり、NEXCO 中日本（中日本高速道路株式会社）の資料によれば、新東名高速道路の引佐 JCT～豊田東 JCT 間の完成予定は 2014 年度（平成 26 年度）とされています。

本町に関連するインターチェンジとしては(仮)額田 IC があります。供用に併せて、同 IC へのアクセス道路の整備として、愛知県で国道 473 号バイパスの事業が進められています。

■新東名高速道路の供用時期

区間名称	供用時期
引佐 JCT～豊田東 JCT	2014 年度（平成 26 年度）
長泉沼津～引佐 JCT	2012 年度（平成 24 年度）
御殿場 JCT～長泉沼津	2012 年度（平成 24 年度）

資料：NEXCO 中日本（中日本高速道路株式会社）HP



■新東名高速道路の計画

ii) 名豊道路

一般国道 23 号名豊道路は、名古屋と豊橋を結ぶ延長約 73Km の大規模バイパスであり、一般国道 1 号、23 号の交通混雑の緩和に大きな効果をもたらす重要な路線です。

本町においては、現在、岡崎バイパス区間の整備が行われ、2 車線暫定供用中となっており、「幸田須美」、「幸田桐山」、「幸田^{あしのや}芦谷」の 3 つのインターチェンジが開設されています。平成 21 年 4 月には、国道 23 号岡崎バイパス沿線(幸田町須美・桐山地内)に道の駅「筆柿の里・幸田」が開業しました。

「幸田芦谷 IC」以東の蒲郡バイパスは、平成 19 年度に、蒲郡 IC (仮称) から東三河 IC (仮称) までの間で事業化されました。これにより、国道 23 号名豊道路は、全線で事業化され、概ね 10 年以内の全線開通が期待されています。

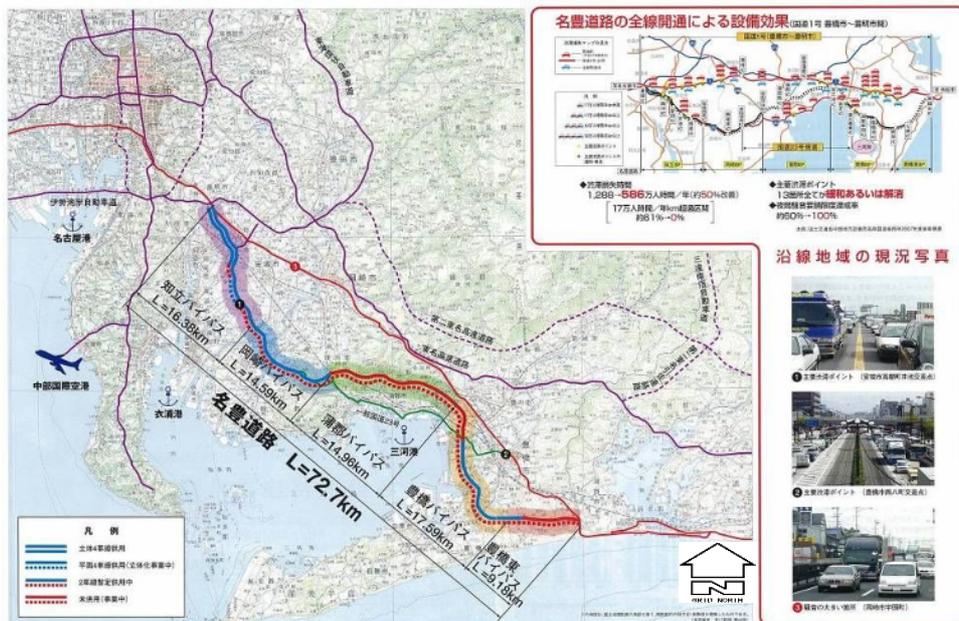
本町では、国道 23 号の交通渋滞が問題となっていたため、名豊道路の全線開通により国道 23 号の渋滞の緩和のみならず、地域の産業振興・物流の効率化に大きく貢献します。



■道の駅「筆柿の里・幸田」



■蒲郡バイパス (平成19年7月撮影)
資料：名四国道事務所HP



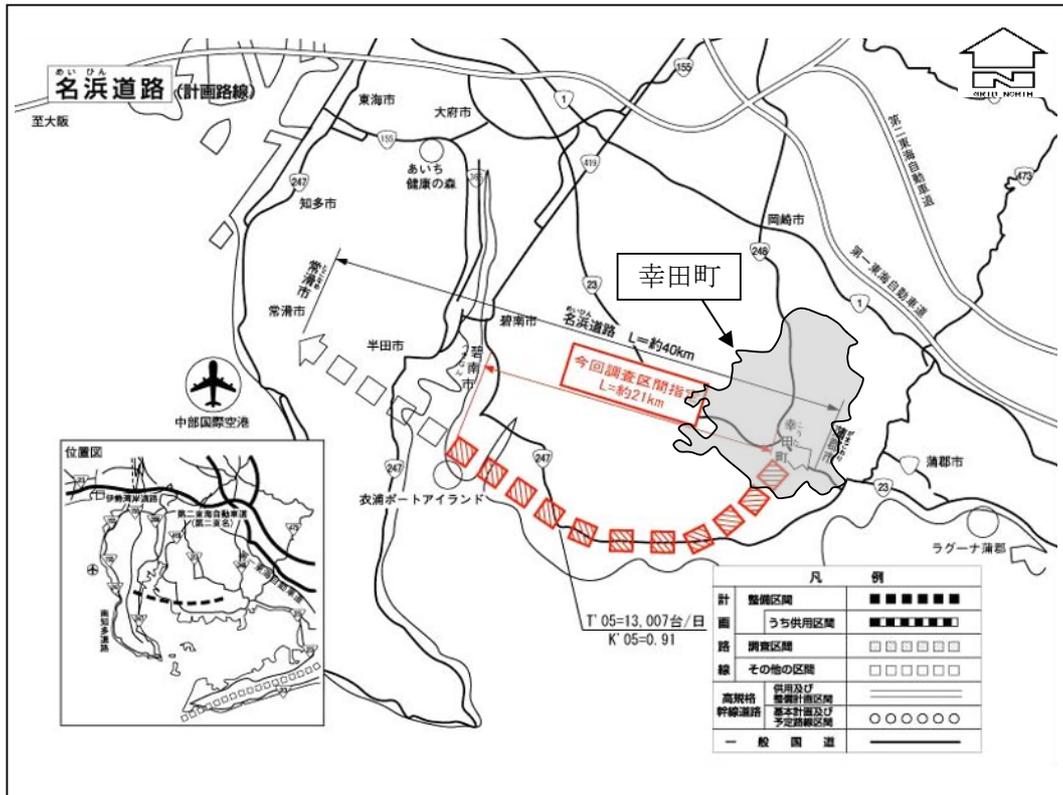
■名豊道路の計画 (名豊道路建設推進協議会パンフレット H20/4 より)

3. 都市および都市交通の特性の整理

iii) 名浜道路

本道路は、三河湾周辺地域相互の連携を強化するとともに、2005年2月に開港した中部国際空港と西三河・東三河を結ぶアクセス道路として、物流・経済・文化の発展に寄与するものと期待されています。

平成19年3月30日付で、常滑市から蒲郡市までの40km区間中、碧南市から額田郡幸田町までの約21kmが地域高規格道路の「調査区間」に指定されました。



出典：愛知県建設部道路建設課（平成19年3月30日公表）

② 都市計画道路の整備状況

- ・都市計画道路とは、都市計画法に基づいてあらかじめ位置・幅員・延長・構造などが決められた都市の基盤となる道路のことです。
- ・幸田町では現在 20 路線が決定されています。
- ・都市計画道路の整備状況としては、整備済が 62.5%、概成が 11.9%をあわせて 74.4%が供用されており、未整備は 25.6%となっています。
- ・市街化区域内の都市計画道路は岡崎市、西尾市に次ぐ整備水準となっています。
- ・都市間を結ぶ幹線道路は、比較的整備が進んでいますが、町内の地区幹線、特に東西を結ぶ幹線道路の整備が遅れています。

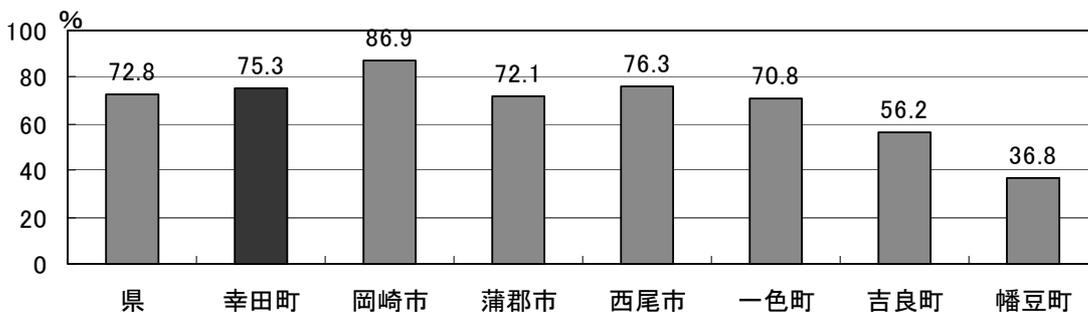
■都市計画道路の整備状況

単位：m

路線番号	名称	幅員	延長	整備済	概成	未整備
1・4・1	名豊道路	21.0	1,590	0	0	1,590
3・1・18	名豊線	40.0	6,570	0	6,570	0
3・4・14	安城幸田線	12~16	3,060	3,060	0	0
3・4・16	安城蒲郡線	16.0	8,140	5,840	0	2,300
3・4・17	芦谷蒲郡線	20.0	1,060	0	0	1,060
3・4・19	芦谷線	20.0	350	0	350	0
3・4・21	衣浦蒲郡線	18.0	4,460	4,460	0	0
3・4・25	蒲郡岐阜線	20.0	10,980	10,980	0	0
3・4・34	六栗大草線	16.0	2,690	1,640	0	1,050
3・4・203	幸田駅西線	16.0	470	470	0	0
3・4・205	相見線	18.0	1,020	1020	0	0
3・5・20	上六栗線	12.0	1,840	0	0	1,840
3・5・32	野場福岡線	12.0	2,000	1,000	0	1,000
3・5・33	芦谷高力線	12~18	3,700	2,820	0	880
3・5・35	生平幸田線	12~16	4,810	2,760	0	2,050
3・5・36	深溝西浦線	12.0	940	940	0	0
3・5・201	野場横落線	12.0	2,640	940	0	1,700
3・5・202	岩堀線	16.0	1,030	300	0	730
3・5・204	拾石竹谷線	12.0	120	0	0	120
7・4・201	カメラア線	16.0	530	0	0	530
合計	20 路線	—	58,000	36,230 (62.5%)	6,920 (11.9%)	14,850 (25.6%)

注：整備状況は平成 21 年 4 月の町資料より計測

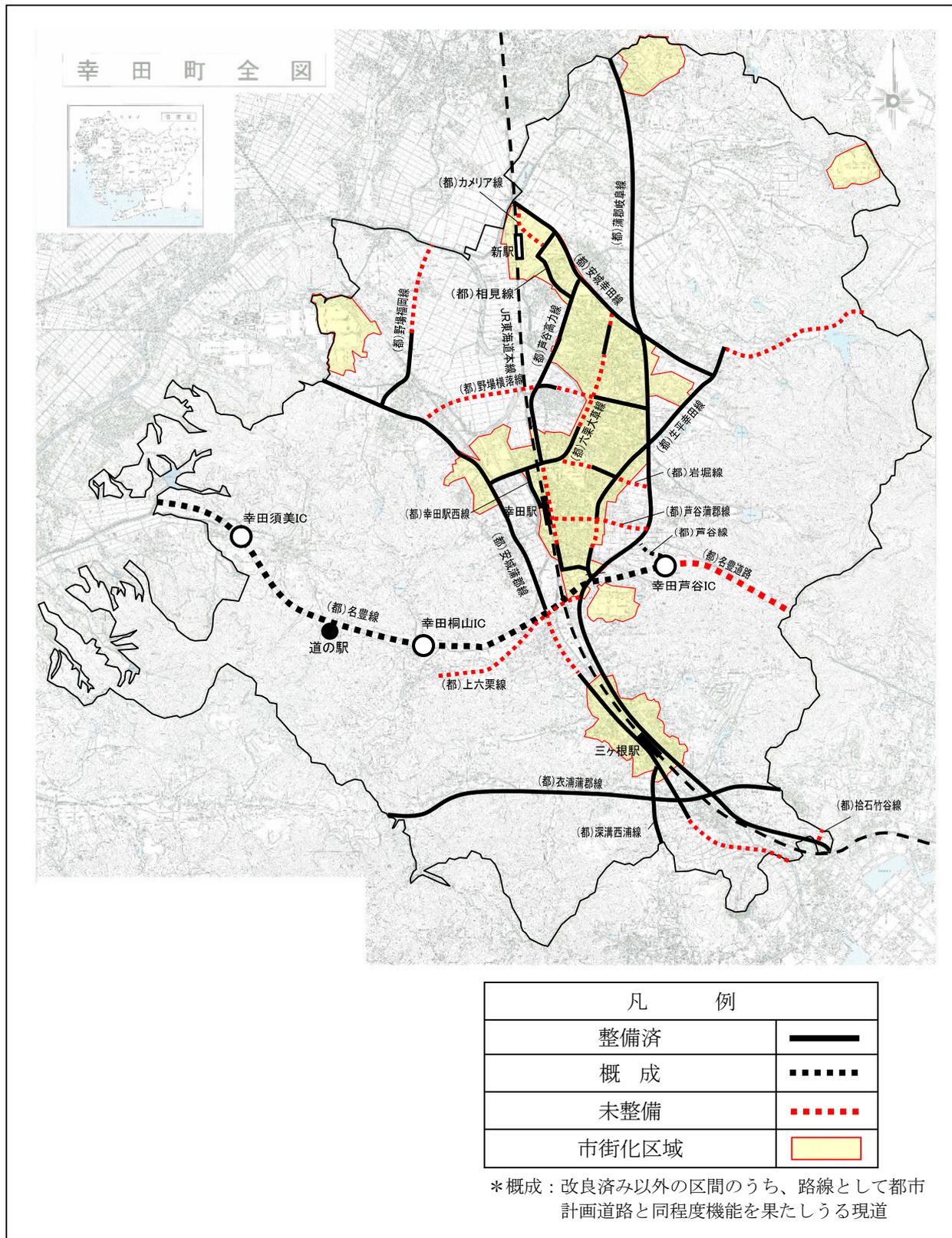
資料：幸田町の都市計画（平成 21 年 4 月作成）



資料：愛知県都市整備課

■近隣市町の都市計画道路の整備率比較（平成 18 年 3 月 31 日現在、市街化区域内）

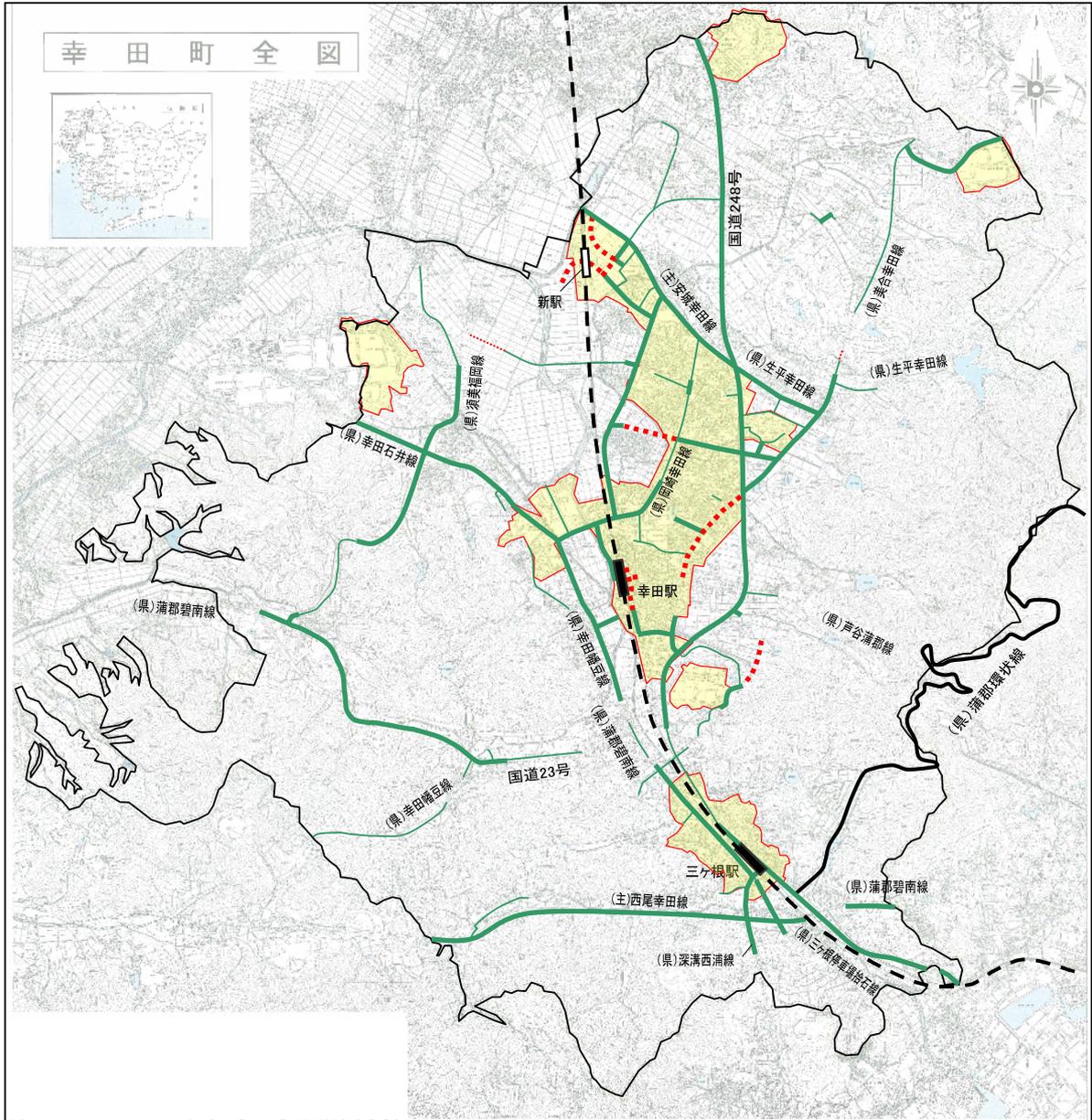
3. 都市および都市交通の特性の整理



■都市計画道路の整備状況図

③ 歩道の設置状況

- ・ 国道 248 号など主要な路線は、両側に歩道が設置されています。
- ・ 駅周辺の市街地においては、歩道の整備が遅れています。



幅員 2.5m（有効幅員 2.0m）以上の歩道の整備状況（国県道、町道について整理）

両側整備済み（整備中）		
片側のみ（整備中）		

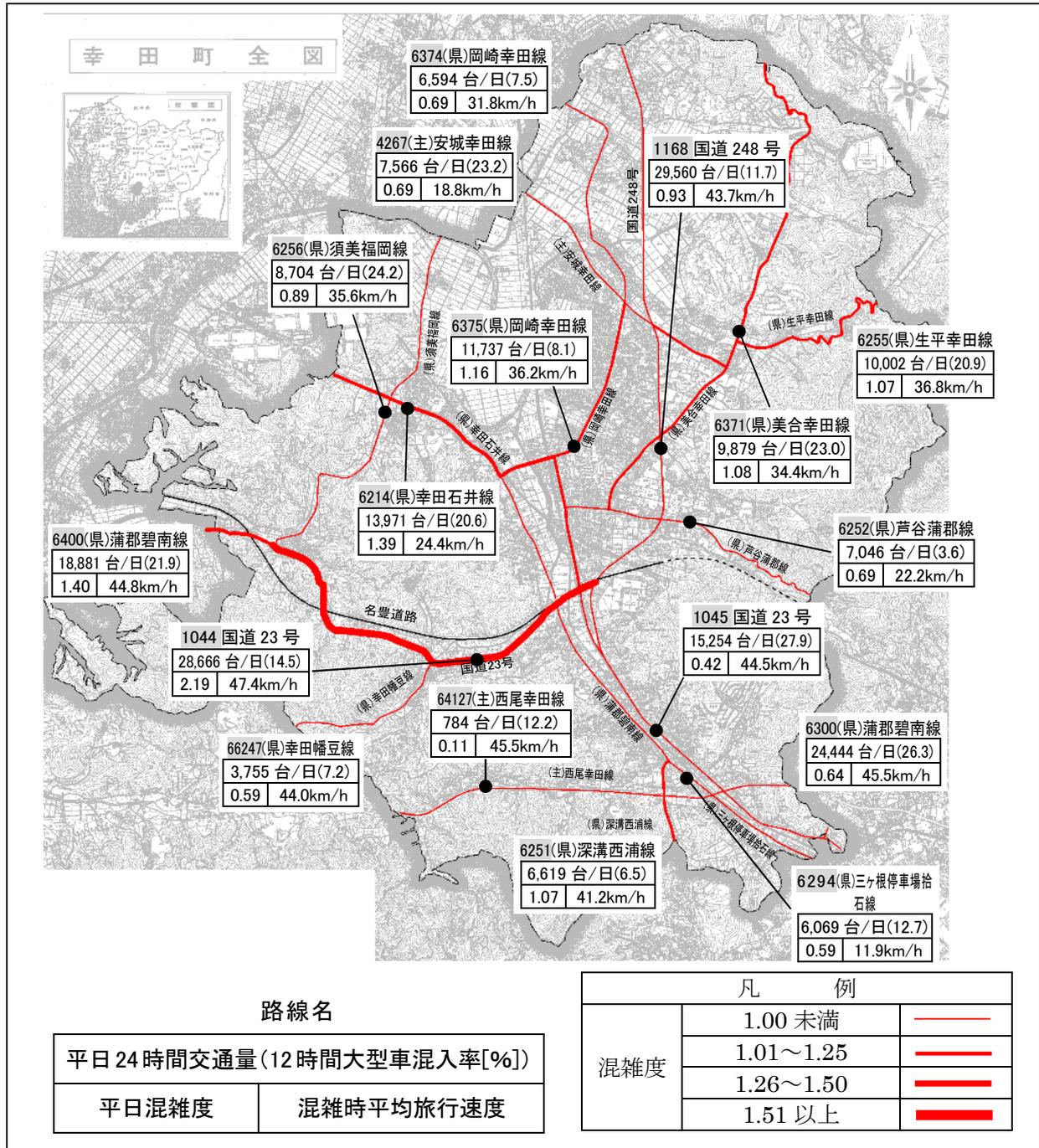
■ 歩道の整備状況図

3. 都市および都市交通の特性の整理

(3) 道路交通状況

① 道路交通量

- ・ 幸田町内では南北軸となっている国道 248 号、東西軸となっている国道 23 号の交通量が非常に多く、交通量は 2 万台/日を超えています。また、国道 23 号、(県)蒲郡碧南線において大型車が集中しており、混入率が 25%を超えています。
- ・ 混雑度は国道 23 号が 2.0 を超えており、混雑状態にあります。
- ・ 各路線のピーク時間は、朝 7 時台に集中しています。



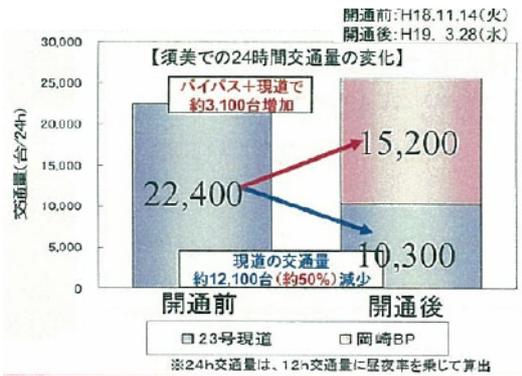
※名豊道路供用 (H19.3) 前の平成 17 年に実施した交通量調査データをもとに作成しています。

資料：平成 17 年交通センサス

■交通状況図

3. 都市および都市交通の特性の整理

・国道23号の混雑度は2.0を越えていましたが、平成19年3月の名豊道路供用後に国道23号の交通量が名豊道路に転換したことで、国道23号(現道)の交通量は約50%減少し、混雑も解消されています。一方、国道23号(現道)と名豊道路(バイパス)を合わせた交通量は増加しています。



資料：国土交通省

■名豊道路供用前後の交通量

■各路線の交通量

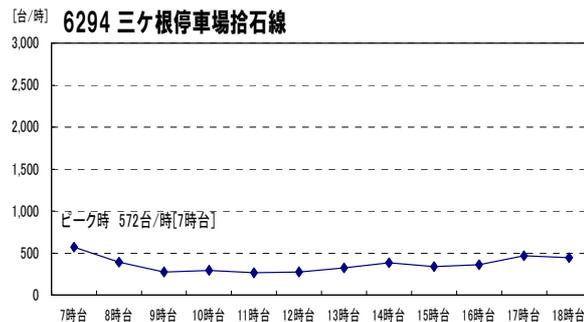
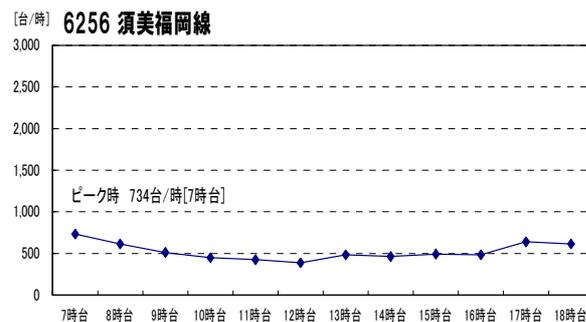
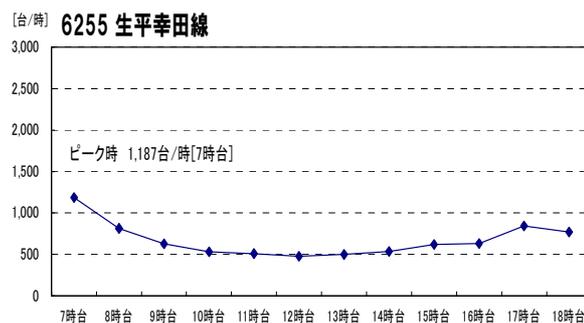
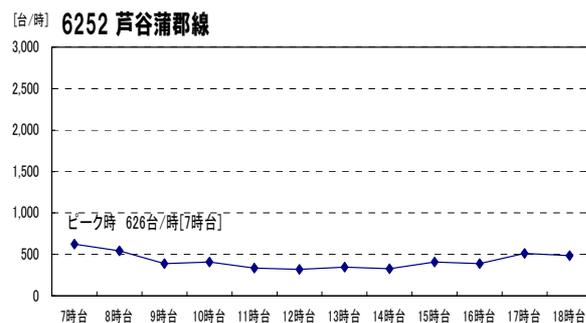
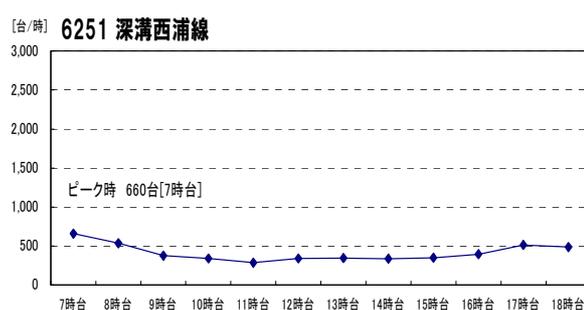
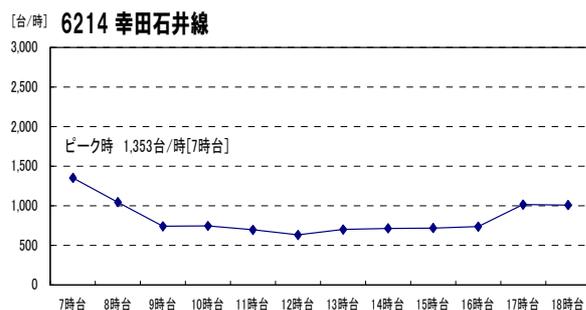
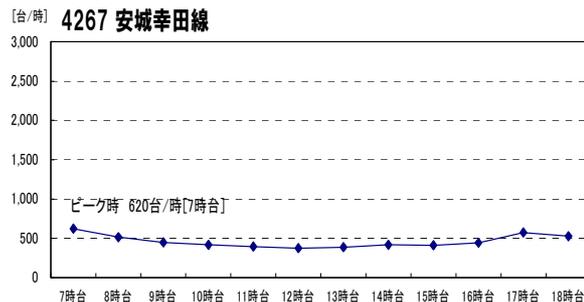
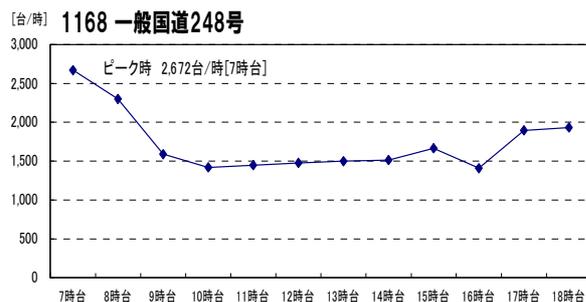
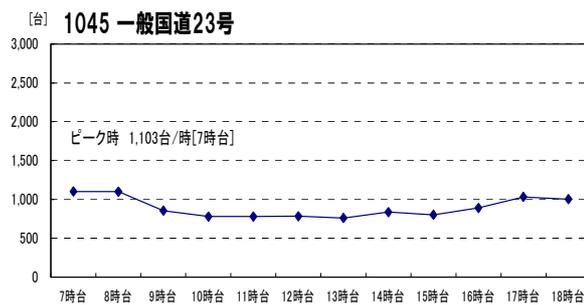
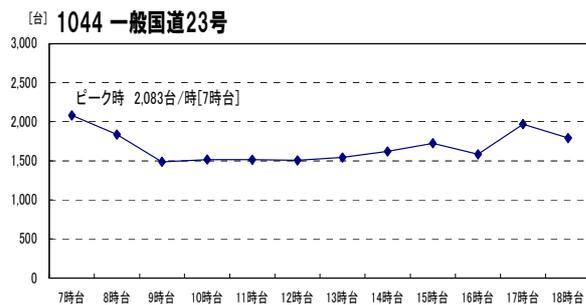
区 間 番 号	路 線 名	観測地点名	区 間 延 長 (km)	車 線 数	平日12時間交通量			平日24時間自動車類交通量(台)						12時間 大型車 混入率 (%)	平日 混雑度	混雑時 平均旅 行速度	
					歩行者 類 (人)	自転 車 類 (台)	二輪車 類 動力 付き (台)	乗用車類			貨物車類						合 計
								乗用車	バス	計	小型 貨物車	普通 貨物車	計				
1044	一般国道23号	額田郡幸田町大字上六栗字道下	5.6	2	132	97	258	18,691	115	18,806	4,568	5,292	9,860	28,666	14.5	2.19	47.4
1045	一般国道23号	額田郡幸田町大字深溝字内池田	4.7	4	20	40	80	8,243	63	8,306	2,689	4,259	6,948	15,254	27.9	0.42	44.5
1168	一般国道248号	額田郡幸田町大字横落字郷東	7.7	4	27	74	211	19,773	94	19,867	4,791	4,902	9,693	29,560	11.7	0.93	43.7
4267	安城幸田線	岡崎市上青野町字稲前西	7.1	2	12	46	34	4,578	18	4,596	1,376	1,596	2,972	7,568	23.2	0.69	18.8
6214	幸田石井線	額田郡幸田町大字野場字上市場	5.1	2	62	134	144	9,161	228	9,389	2,247	2,335	4,582	13,971	20.6	1.39	24.4
6251	深溝西浦線	蒲郡市形原町西稲荷	7.4	2	50	29	131	4,862	34	4,896	1,298	425	1,723	6,619	6.5	1.07	41.2
6252	芦谷蒲郡線	額田郡幸田町大字荻字東中	3.2	2	0	2	58	5,351	64	5,415	1,268	363	1,631	7,046	3.6	0.69	22.2
6255	生平幸田線	岡崎市舞木町字広池	14.5	2	162	117	78	6,457	31	6,488	1,784	1,730	3,514	10,002	20.9	1.07	36.8
6256	須美福岡線	額田郡幸田町大字野場字三田堂	6.1	2	16	26	62	5,345	97	5,442	1,535	1,727	3,262	8,704	24.2	0.89	35.6
6294	三ヶ根停車場拾石線	額田郡幸田町大字深溝字茶屋畑	2.8	2	32	85	108	4,159	65	4,224	1,145	700	1,845	6,069	12.7	0.59	11.9
6300	蒲郡碧南線	蒲郡市竹谷町足洗	2.5	4	162	274	275	15,540	285	15,825	3,408	5,211	8,619	24,444	26.3	0.64	45.5
6400	蒲郡碧南線	西尾市岡島町東塚田	5.4	2	9	24	67	11,960	206	12,166	3,269	3,446	6,715	18,881	21.9	1.40	44.8
6371	美合幸田線	額田郡幸田町大字大草字祢宜屋敷	6.9	2	12	25	78	6,398	117	6,515	1,495	1,869	3,364	9,879	23.0	1.08	39.4
6374	岡崎幸田線	岡崎市上地6丁目37	3.3	2	22	72	153	4,937	91	5,028	1,070	496	1,566	6,594	7.5	0.69	31.8
6375	岡崎幸田線	額田郡幸田町大字菱池字大山	3.8	2	425	750	194	8,855	95	8,950	1,929	858	2,787	11,737	8.1	1.16	36.2
64127	西尾幸田線	(額田郡幸田町大字逆川字大岩)	5.5	2	37	16	14	475	14	489	204	91	295	784	12.2	0.11	45.5
66247	幸田幡豆線	(幡豆郡幡豆町大字西幡豆字郷)	9.1	2	36	31	43	2,566	48	2,614	864	277	1,141	3,755	7.2	0.59	44.0

出典：平成17年交通センサス

※ 上記観測地点はいずれも12時間観測地点であるため、昼間12時間交通量に昼夜率を乗じて算出した24時間交通量を記載しています。

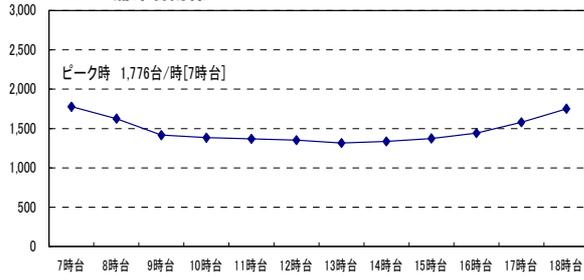
3. 都市および都市交通の特性の整理

■各路線の時間帯別交通量 1

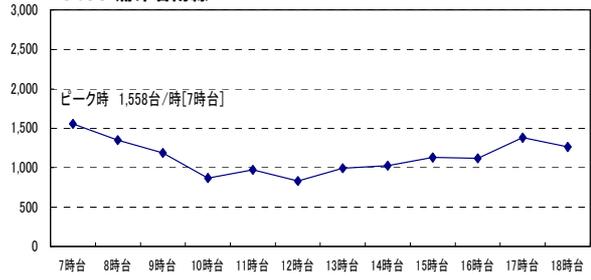


■主要道路の時間帯別交通量 2

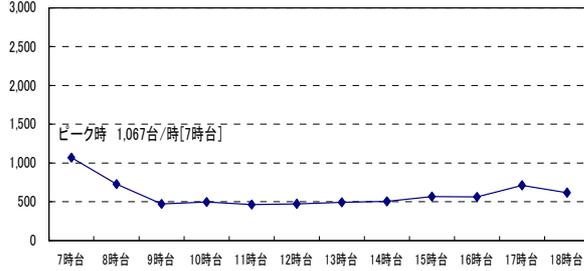
[台/時] 6300 蒲郡碧南線



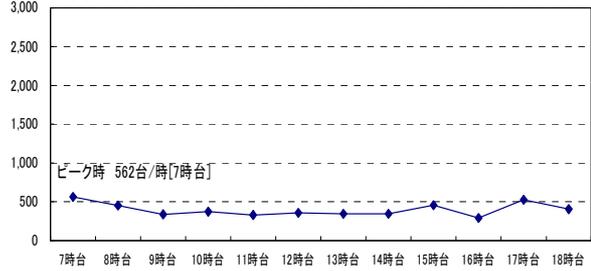
[台/時] 6400 蒲郡碧南線



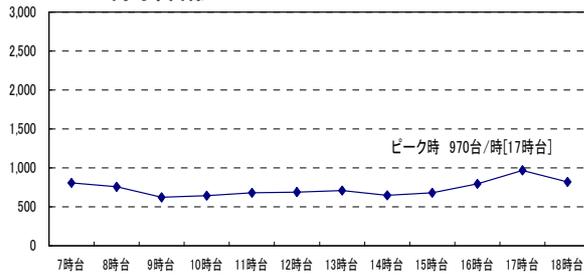
[台/時] 6371 美合幸田線



[台/時] 6374 岡崎幸田線



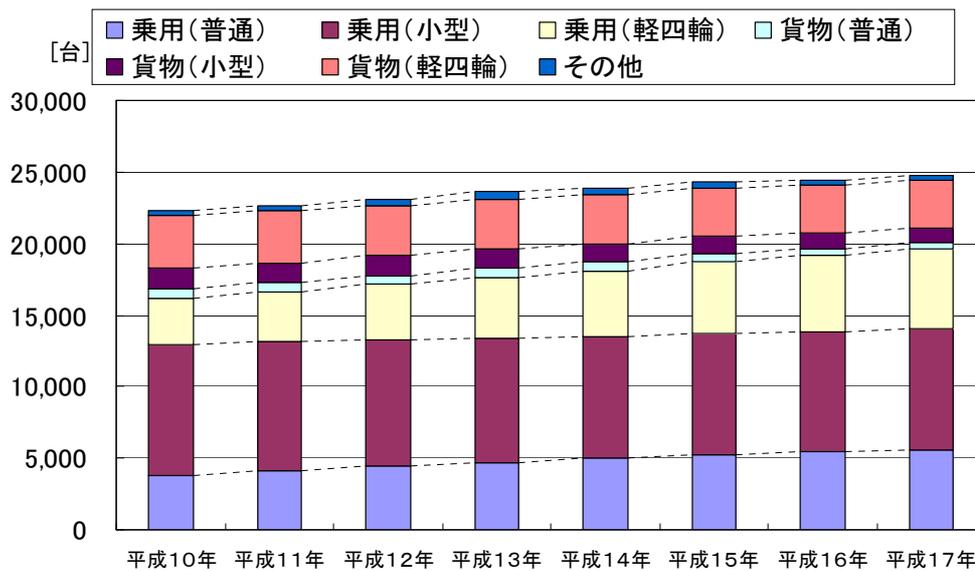
[台/時] 6375 岡崎幸田線



3. 都市および都市交通の特性の整理

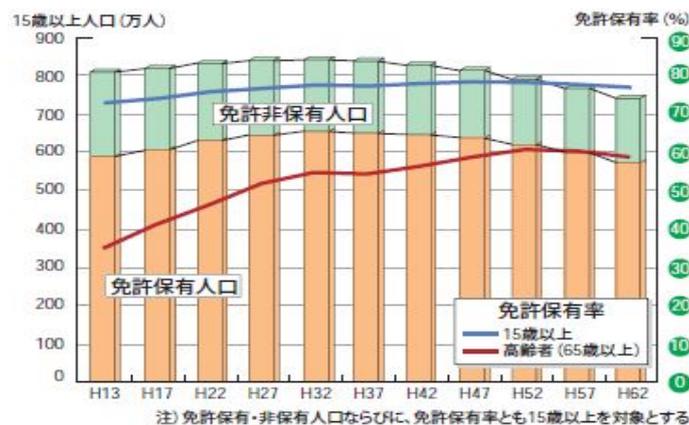
② 自動車保有台数

- ・自動車保有台数は年々1%程度増加しています。
- ・特に、軽四輪乗用自動車が年 5～10%程度（200～400 台）増加しており、普通乗用自動車が年 2～6%程度（100～300 台）増加しています。
- ・全国的な傾向として、高齢者の運転免許所有者は年々増加してきており、65 歳以上の免許保有率は、現在の 34%から最大 60%まで増加すると予想されています。



資料：こうたの統計

■自動車保有台数の推移

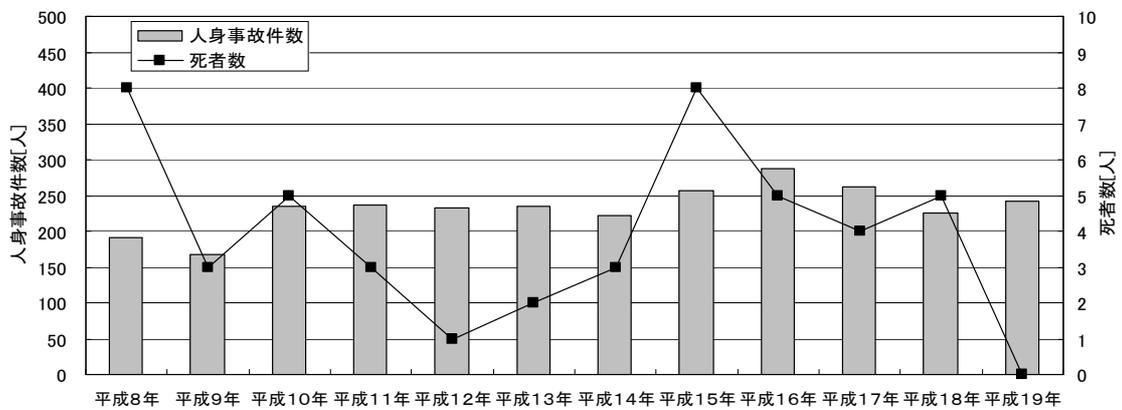


資料：第4回中京都市圏パーソントリップ調査

■中京都市圏の将来運転免許保有の予測

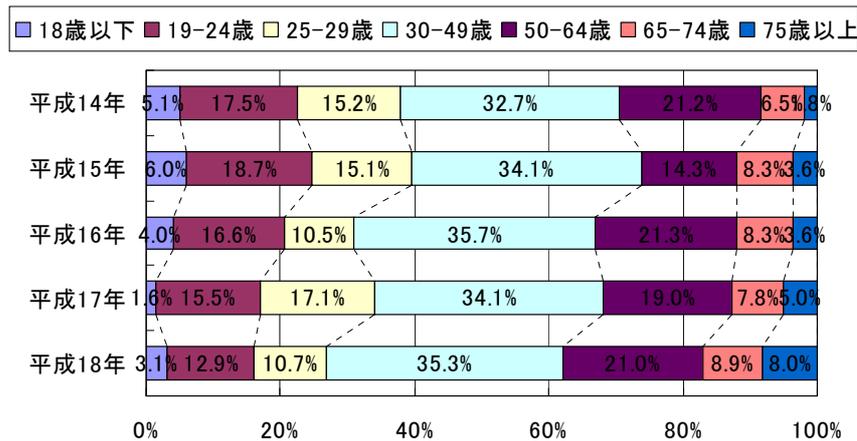
③ 交通事故件数

- ・幸田町における交通事故件数は、平成16年をピークに減少傾向にあったが、平成19年に増加しています。
- ・交通事故死亡者数はここ数年減少傾向にあり、平成19年は死亡事故がゼロとなっています。
- ・年齢別には、全国的な傾向と同様に65歳以上（特に75歳以上）の交通事故件数が増加しています。今後も高齢者の運転免許所有者は増加していくと予想され、交通安全ルールやマナーの周知徹底の呼びかけなど、高齢者の交通事故防止対策の推進が望まれます。



資料：こうたの統計、交通事故発生状況

■幸田町における交通事故件数の推移



資料：交通安全マップ HP

■幸田町における年齢別交通事故比率の推移

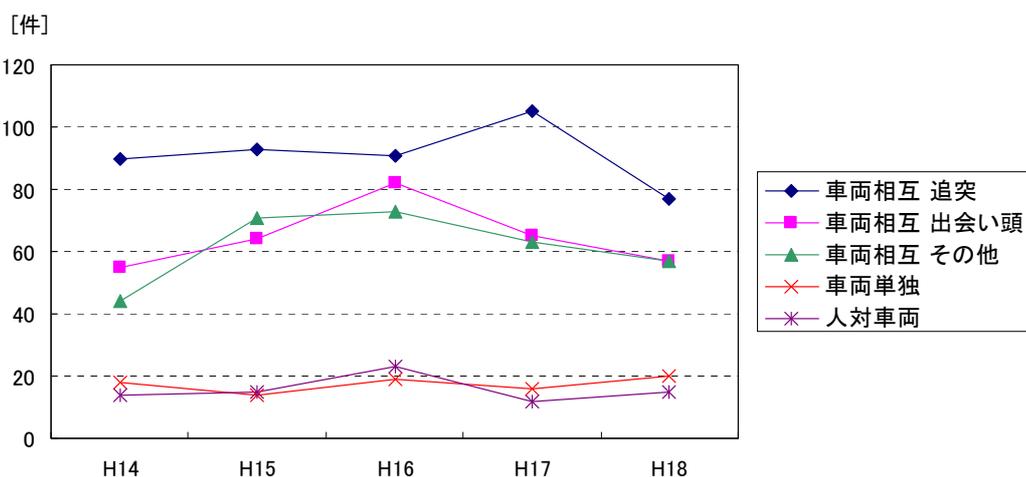
3. 都市および都市交通の特性の整理

- ・事故類型別には、車両相互の事故の割合が高く、このうち追突事故、出会い頭事故が6割を占めています。
- ・平成17年から18年にかけて、追突事故をはじめ車両相互の事故は減少している一方で、人対車両、または車両単独事故は増加しています。
- ・近年の自転車事故の増加を受け、平成19年に道路交通法の改正が行われ、自転車通行のルールが見直されました。
- ・この改正により自転車の歩道通行要件が明確にされ、「道路標識」や「自転車通行指定部分」などで自転車通行が認められた場所以外は原則的に車道の左側を通行することとなりました。
- ・自転車利用の促進のためには、自転車通行空間の整備や法的な位置づけを行うなどの対策が必要です。

■幸田町における事故類型別交通事故件数の推移

		H14	H15	H16	H17	H18
人対車両		14	15	23	12	15
車両相互	追突	90	93	91	105	77
	出会い頭	55	64	82	65	57
	その他	44	71	73	63	57
車両単独		18	14	19	16	20
計		221	257	288	261	226

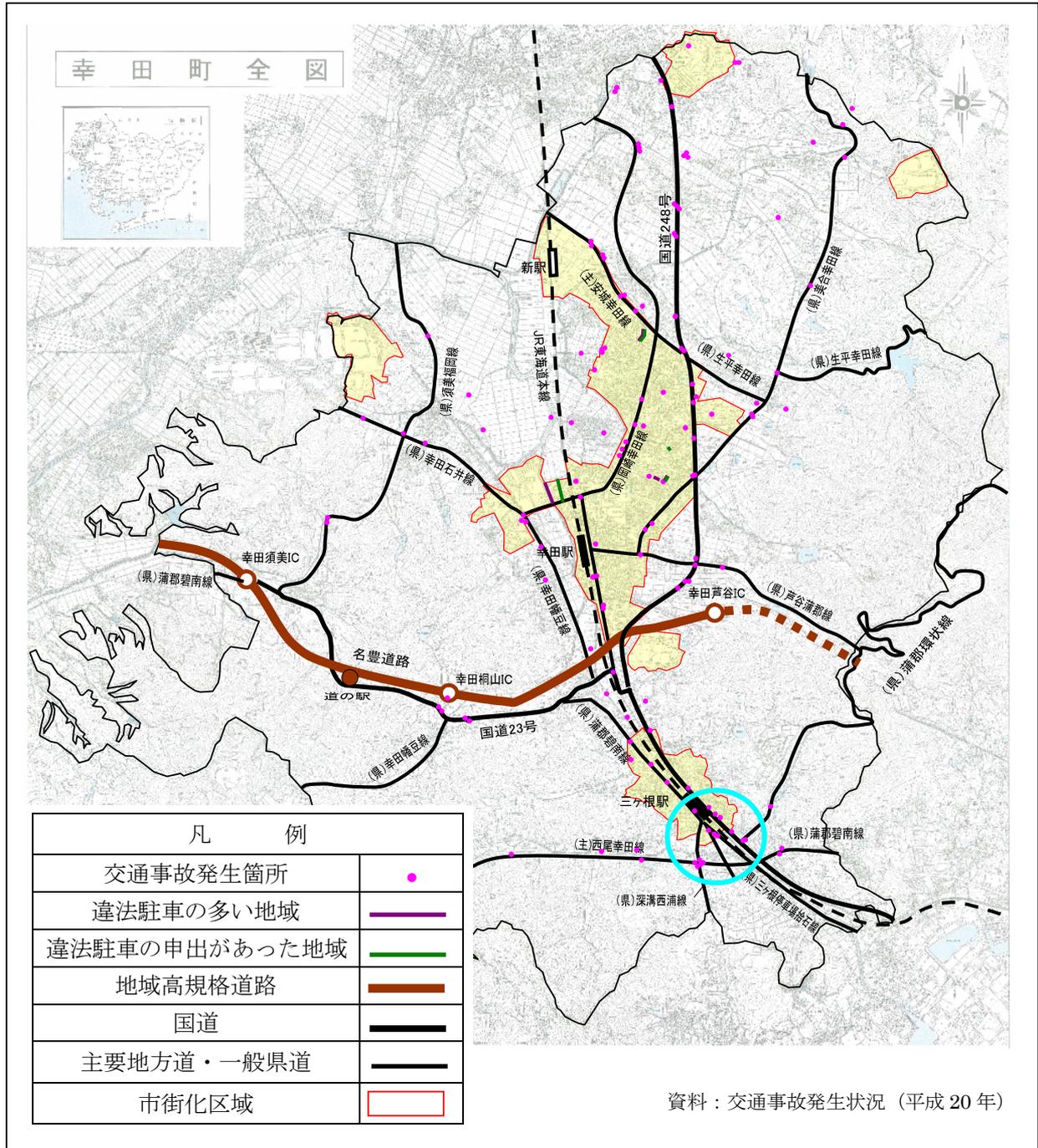
資料：交通安全マップ HP



■幸田町における事故類型別交通事故件数の推移

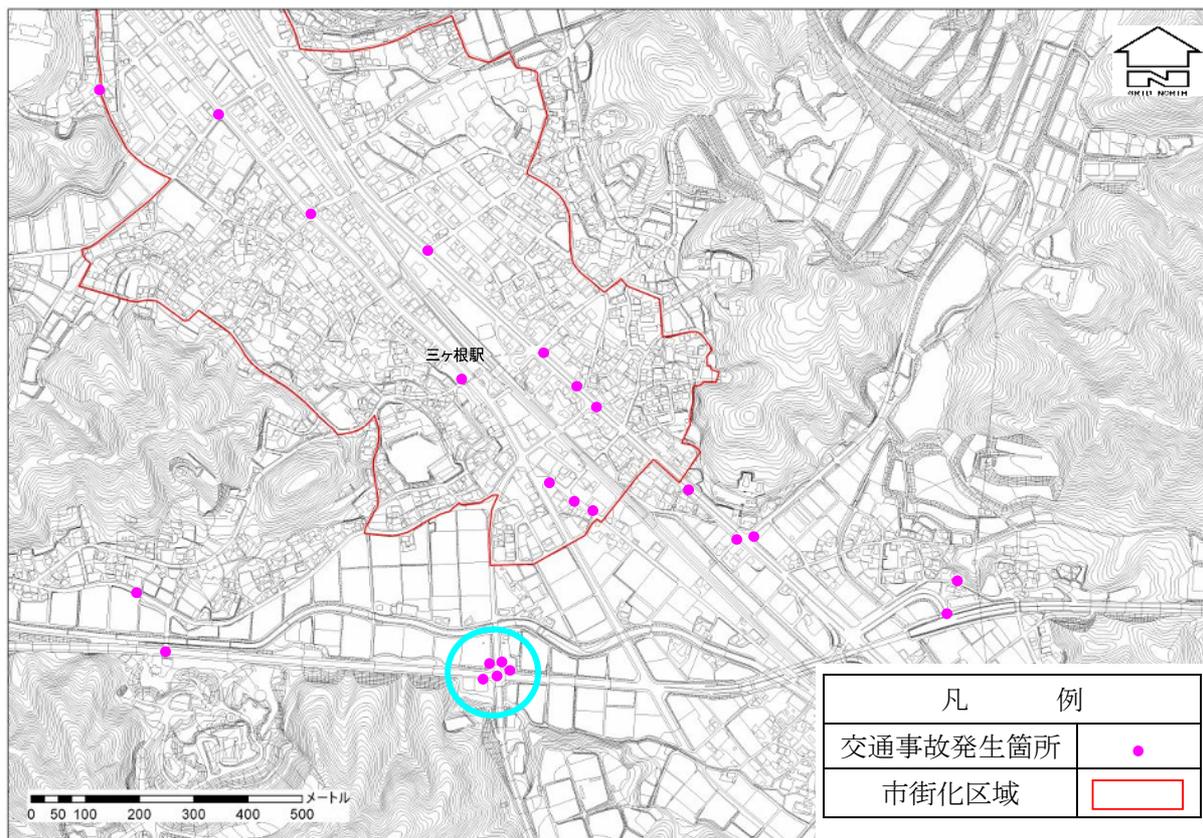
3. 都市および都市交通の特性の整理

- ・交通事故の発生場所は、市街化区域内において数多く発生しており、特に国道 248 号や(主)安城幸田線、(県)岡崎幸田線などに集中しています。
- ・三ヶ根駅周辺道路で事故件数が多くなっています。特に深溝苅谷門交差点 ((県)三ヶ根停車場拾石線と(主)西尾幸田線の交差点) では、交通事故が 5 件あり、車両同士の事故が多いことから、車道の安全性に留意する必要があります。



■交通事故発生状況図（平成 20 年 1 月～9 月）

3. 都市および都市交通の特性の整理



■交通事故発生状況図「三ヶ根駅周辺」（平成20年1月～9月）

(4) 各種指定状況

①交通安全指定道路、②バリアフリー新法における特定道路、③緊急輸送道路、④景観指定道路の状況は、下記の通りです。

①交通安全指定道路

交通安全施設等整備事業の推進に関する法律（昭和41年法律第45号、以下「交安法」という）第3条第1項の規定に基づく特定交通安全施設等整備事業を実施すべき道路については、幸田町においては交安法施行規則の1号、3号及び4号に規定する道路が指定されています。

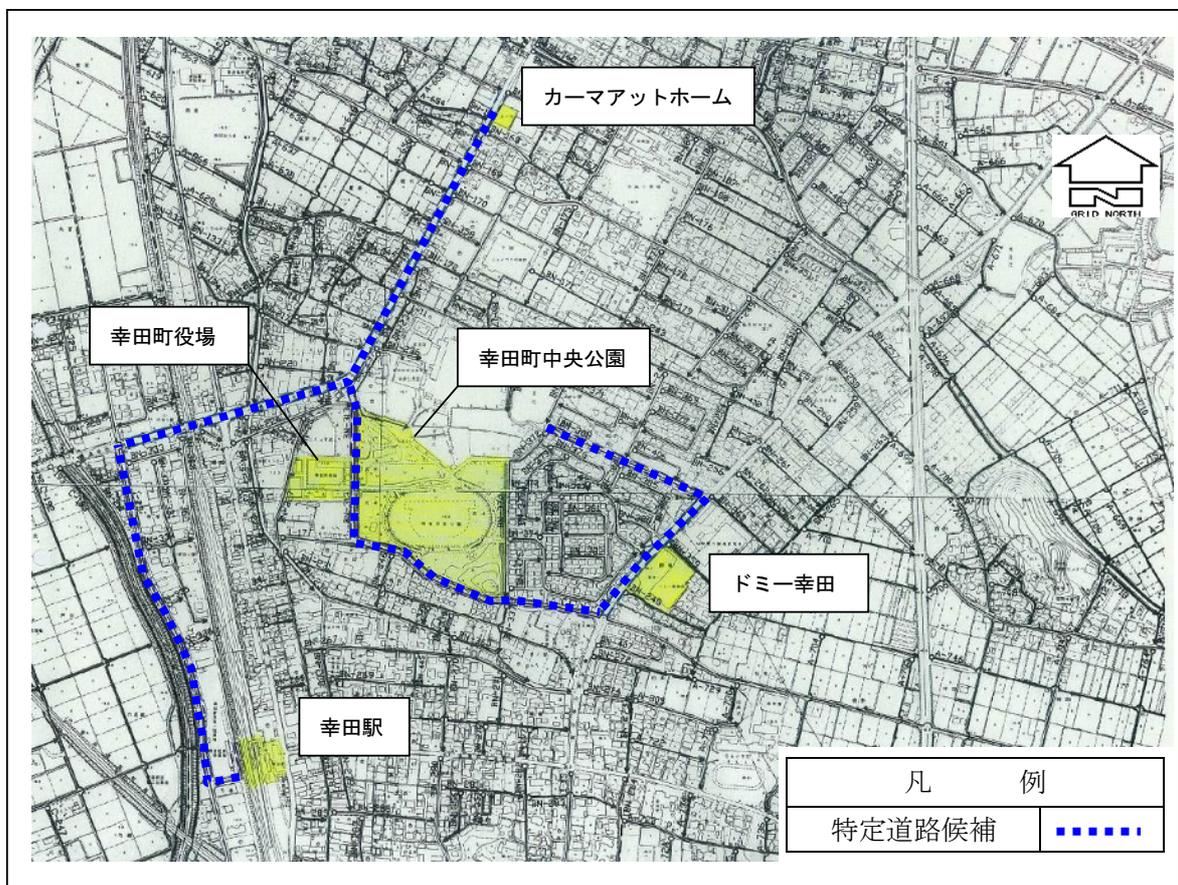
4号については、交通の円滑を図ることが特に必要であると認められる地区指定であり、6地区が平成20年9月5日に指定されています。

3. 都市および都市交通の特性の整理

②バリアフリー新法における特定道路

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成 18 年法律第 91 号、以下「バリアフリー新法」という）」では、高齢者、障害者等の移動や施設利用の利便性と安全性の向上を促進するために、公共交通機関、建築物、公共施設のバリアフリー化を推進するとともに、駅周辺など施設が集中する地区において重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進することとしています。

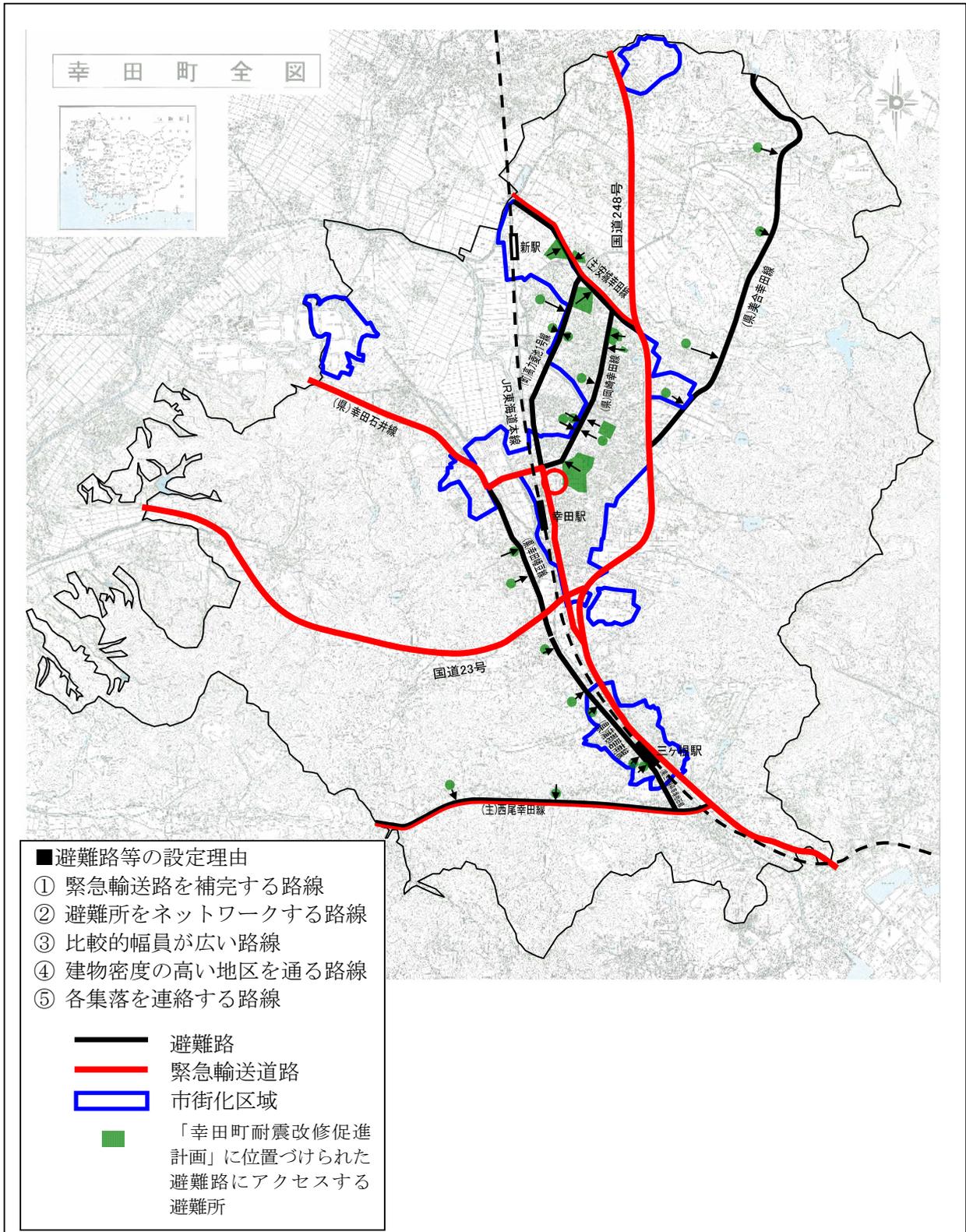
バリアフリー新法第 2 条第 9 号に規定する「特定道路」は、移動円滑化が特に必要な道路として指定するものであり、幸田町では幸田駅周辺における下記の路線が特定道路候補となっています。



■バリアフリー対象道路図

③ 緊急輸送道路

緊急輸送道路として国道23号、国道248号、県道幸田石井線などが指定されています。
また、避難路として県道美合幸田線、(主)安城幸田線などが指定されています。



* 幸田町耐震改修促進計画報告書(平成20年3月)、愛知県資料をもとに作成

■ 避難路等設定図

【参考】ハザードマップ

避難所			
No.	避難所	電話番号	所在地
①	町民会館	63-1111	大草字丸山60
②	長瀬コミュニティホーム	62-2947	長瀬字南郷中28
③	久保田コミュニティホーム	62-6699	久保田字社口25-2
④	坂崎公民館	62-5299	坂崎字御蔵敷22-1
⑤	坂崎小学校	62-0115	坂崎字摺り山31
⑥	坂崎保育園	62-0071	坂崎字摺り山11-1
⑦	坂崎7番組コミュニティホーム		坂崎字城1
⑧	幸田小学校	62-0118	大草字三ツ石18
⑨	大草保育園	62-0213	大草字北川後50
⑩	大草老人憩の家	62-4335	大草字羽根9
⑪	大草西コミュニティホーム		大草字寺西16-6
⑫	高力老人憩の家	62-2453	高力字越丸13-1
⑬	幸田高校	62-1445	高力字神山78
⑭	北部中学校	62-9451	高力字越丸34
⑮	身体障害者福祉センター	63-2941	菱池字城山143-1
⑯	藤田公民館	62-3000	菱池字野々宮102-1
⑰	藤田コミュニティホーム		菱池字寺西6
⑱	わだた保園	62-8035	菱池字大久後16-1
⑲	岩堀老人憩の家	63-0921	菱池字足門1
⑳	欠間児童館	62-4647	菱池字欠間11
㉑	幸田中央公民館	62-1111	菱池字黒方78
㉒	幸田中学校	62-0043	菱池字黒方19
㉓	岩堀公民館	63-0921	菱池字足門1-1
㉔	新田老人憩の家	62-7116	菱池字新田6
㉕	高齢者生きかきセンター	63-0011	横溝字竹ノ花32
㉖	横溝コミュニティセンター	63-5772	横溝字中67
㉗	中央小学校	62-8050	横溝字北門1
㉘	荻農村センター	62-7730	荻字下61-1
㉙	とほね運動場管理棟	62-9150	荻字奥入99
㉚	幸田老人憩の家	62-1390	芦谷字後シロ15-1
㉛	野場南部コミュニティホーム		野場字南野105
㉜	里中央コミュニティホーム		深溝字内山32
㉝	桜坂コミュニティホーム	63-2820	菱池字板坂31-1
㉞	芦谷公民館	62-2147	芦谷字神ノ前27-1
㉟	芦谷コミュニティセンター	63-0077	芦谷字宮ノ原15-7
㊱	荻谷小学校	62-0117	芦谷字東山1
㊲	さくら会館	62-7080	芦谷字野野25-1
㊳	幸田保育園	62-0140	芦谷字宮ノ原14-1
㊴	老人福祉センター	62-7224	深溝字一之宮2-1
㊵	深溝児童館	62-1905	深溝字里4-1
㊶	里東老人憩の家	62-6292	深溝字権行寺21-3
㊷	里西コミュニティホーム		深溝字一之宮6-3
㊸	里保育園	62-7568	深溝字宮前5
㊹	深溝小学校	62-0119	深溝字南道祖神11
㊺	深溝老人憩の家	62-6225	深溝字南道祖神30-1
㊻	南部中学校	62-6811	深溝字舟山5-5
㊼	市場公民館	62-8110	深溝字会下後37
㊽	市場一ノ瀬コミュニティホーム		深溝字花籠19-3
㊾	海谷公民館	62-7298	深溝字上木16
㊿	豊坂小学校	62-1048	野場字福島55
1	野場老人憩の家		野場字下市場53
2	勤労者体育センター	62-2684	野場字福島50-1
3	野場ふれあいセンター	62-5189	野場字下片田19
4	豊坂保育園	62-0214	野場字井戸田40-1
5	永野老人憩の家	63-1091	永野字沢田5-2
6	須美公民館	62-7738	須美字向屋敷88-2
7	須美老人ふれあいの家	63-0970	須美字道水1-5
8	六栗公民館	62-0073	六栗字本郷5-1
9	六栗児童館		六栗字大後23-2
10	上六栗老人憩の家	62-6792	上六栗字中切34
11	桐山老人憩の家	62-6226	桐山字善田山76-3
12	逆川農村センター	62-9444	逆川字大坪31-2

医療機関			
No.	医療機関	電話番号	所在地
①	おはら内科クリニック	62-8400	坂崎字上田31-3
②	京ヶ峰岡田病院	62-1421	坂崎字石ノ塔8
③	幸田産婦人科	62-8675	大草字広野76
④	幸田中央クリニック	56-8200	高力字越丸27-1
⑤	こうた皮膚科クリニック	56-1311	大草字大正3-3
⑥	佐野胃腸科外科	62-5411	大草字松山12-4
⑦	三ヶ根クリニック	62-2055	深溝字権行寺11
⑧	鈴木眼科医院	62-4612	大草字松山12-6
⑨	鈴木更正医院	62-0020	芦谷字後シロ46
⑩	鈴木内科	62-8181	菱池字三保田1-74
⑪	とみた小児科	63-1180	横溝字竹ノ花2-1
⑫	西山みみ・はな・のぞクリニック	62-8781	大草字広野30
⑬	野々村クリニック	56-6500	芦谷字伯楽6-1
⑭	日高医院	63-1155	深溝字東道祖神7-1
⑮	牧原整形外科クリニック	63-5678	芦谷字後シロ5-1
⑯	三河クリニック	63-2480	坂崎字西長根25-72
⑰	むらかみ整形外科	63-2366	高力字広田2
⑱	山崎内科胃腸科	62-5225	菱池字源田61-1

大規模な災害が発生し、多数の負傷者、避難者が発生した場合、町内4箇所に救護所が設置されます。町内の医師、歯科医師は担当地区の救護所に向出いたします。病院などの医療機関には医師等は不在となる場合があります。

洪水ハザードマップ

この図は、矢作川水系広田川の浸水予想区域と、その区域が浸水した場合に予想される水深を示したものです。この浸水予想区域は、一定の条件の下で、概ね30年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、広田川がはん濫した場合のシミュレーションにより求められたものです。予想を超える降雨が発生した場合など、条件によっては、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。もし、近くで堤防が破壊すれば、大きな浸水深になる可能性があります。注意が必要です。

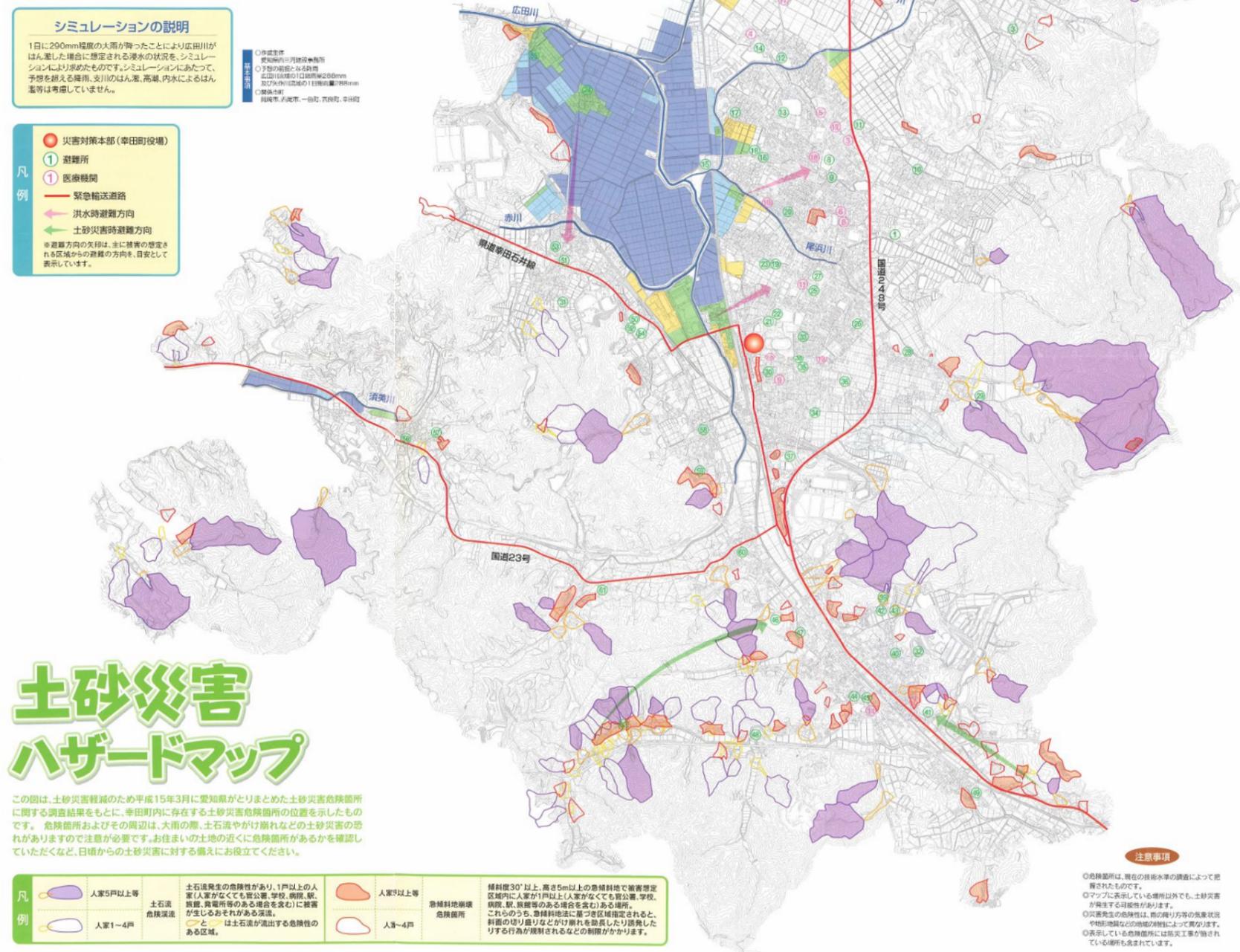
シミュレーションの説明

1日に290mm程度の大雨が降ったことにより広田川がはん濫した場合に想定される浸水の状態を、シミュレーションにより求めたものです。シミュレーションにあたって、予想を超える降雨、支川のはん濫、高潮、内水によるはん濫等は考慮していません。

○浸水想定区域
○浸水想定区域外
○浸水想定区域の水深
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が20cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が10cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が5cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が2cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が1cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が0.5cm以上の区域

● 災害対策本部(幸田町役場)
① 避難所
② 医療機関
③ 緊急輸送道路
→ 洪水時避難方向
→ 土砂災害時避難方向

※避難方向の矢印は、主に被害の想定される区域からの避難の方向を、目安として表示しています。



土砂災害ハザードマップ

この図は、土砂災害軽減のため平成15年3月に愛知県とりまとめた土砂災害危険箇所に関する調査結果をもとに、幸田町内に存在する土砂災害危険箇所の位置を示したものです。危険箇所およびその周辺は、大雨の際、土石流やがけ崩れなどの土砂災害の恐れがありますので注意が必要です。お住まいの土地の近くに危険箇所があるかを確認していただくなど、日頃からの土砂災害に対する備えにお役立てください。

○土砂災害危険箇所
○土砂災害危険箇所(浸水想定区域)

○浸水想定区域
○浸水想定区域外
○浸水想定区域の水深
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が20cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が10cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が5cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が2cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が1cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が0.5cm以上の区域

● 災害対策本部(幸田町役場)
① 避難所
② 医療機関
③ 緊急輸送道路
→ 洪水時避難方向
→ 土砂災害時避難方向

○土砂災害危険箇所
○土砂災害危険箇所(浸水想定区域)

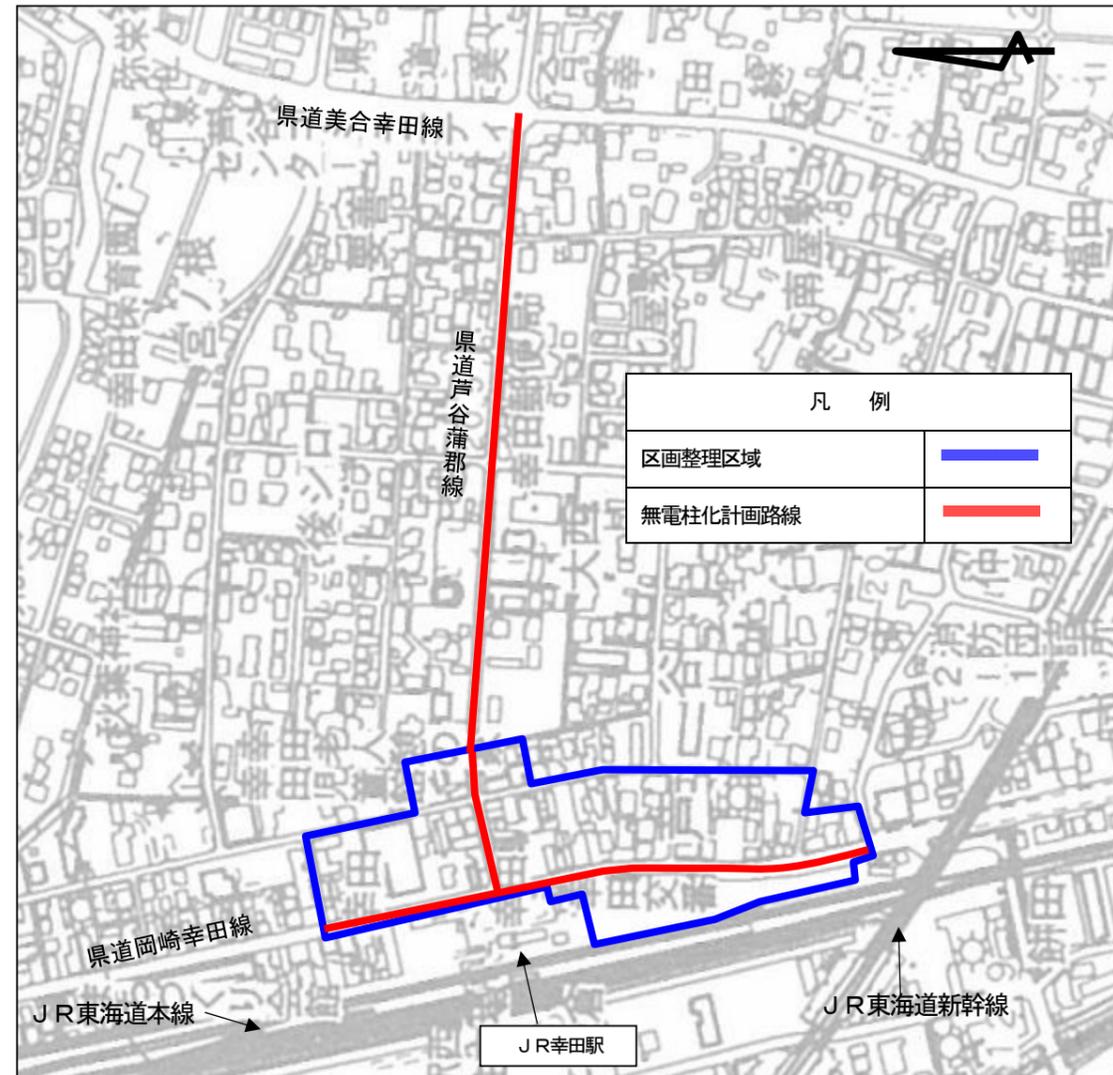
○浸水想定区域
○浸水想定区域外
○浸水想定区域の水深
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が20cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が10cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が5cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が2cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が1cm以上の区域
○浸水想定区域の水深(浸水想定区域の水深)が0.5cm以上の区域

○危険箇所は、現在の技術水準の調査によって把握されたものです。
○マップに表示している箇所以外でも、土砂災害が発生する可能性があります。
○災害発生時の危険性は、雨の降り方等の気象状況や地盤の状況などの地域内特性によって異なります。
○表示している危険箇所には防災工事が行われている箇所も含まれています。

④ 景観指定道路

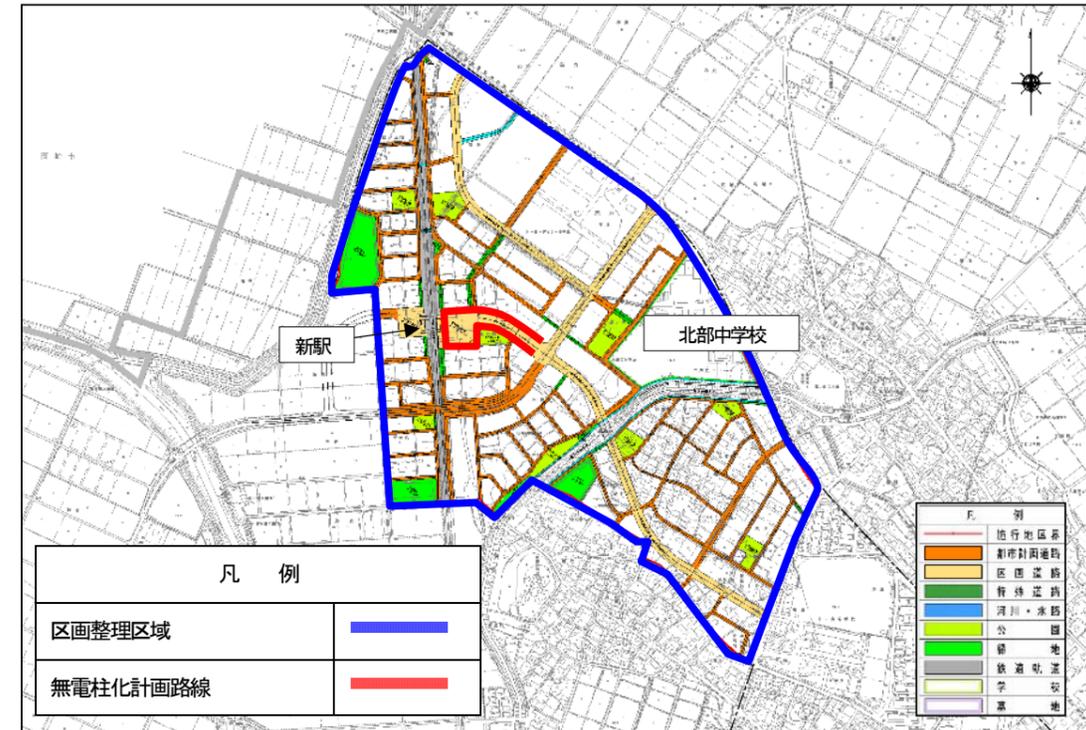
幸田町において、景観を整備すべき道路として指定されている箇所はありません。ただし、駅前地区において地区の魅力を高めるために、電線地中化など無電柱化を進める道路として「無電柱化推進計画（H16～H20）」の中に調整路線として位置づけている路線があります。

●幸田駅周辺地区



■無電柱化計画路線

●新駅周辺地区



■無電柱化計画路線図

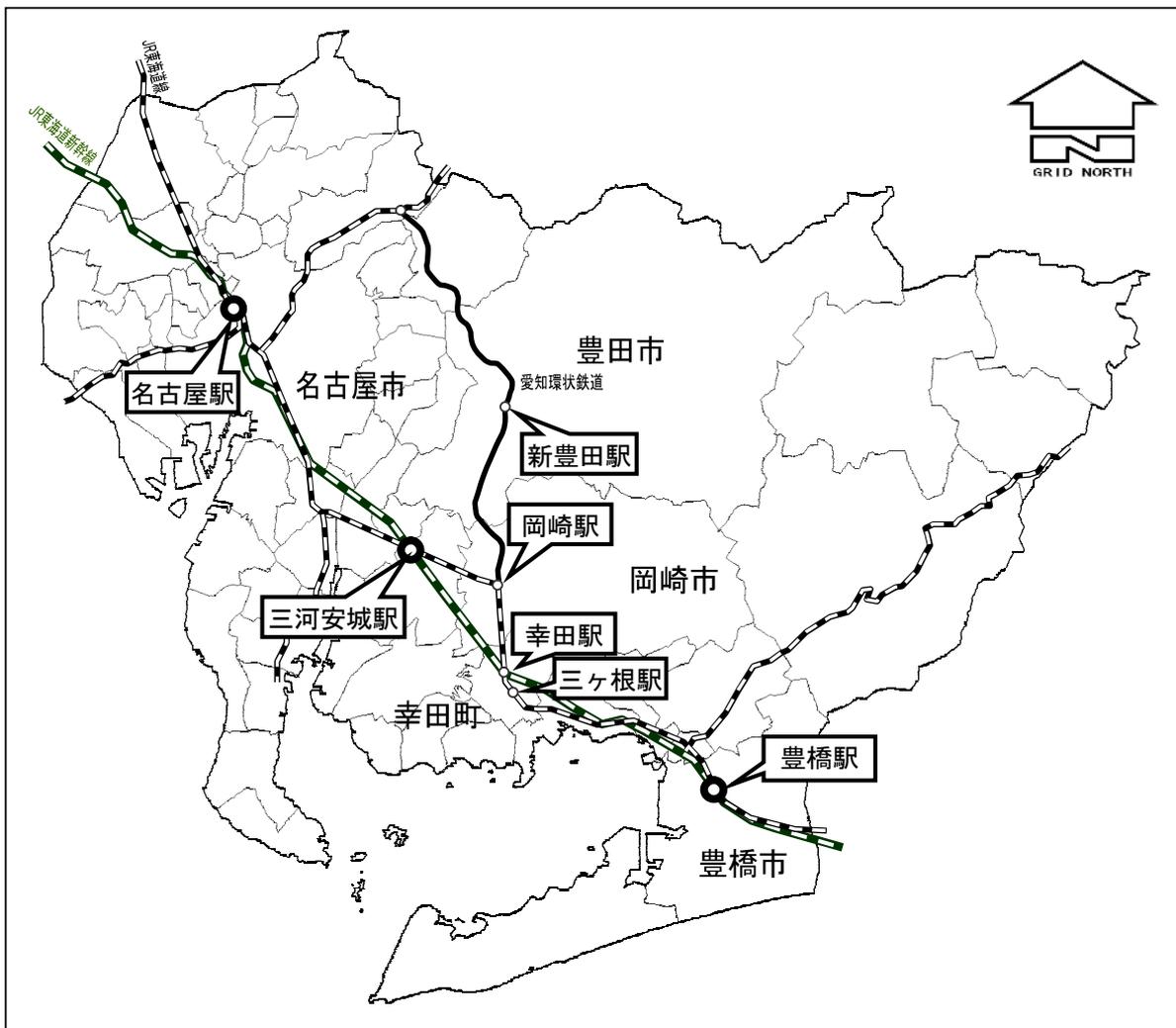
3-2-2. 公共交通

(1) 鉄道

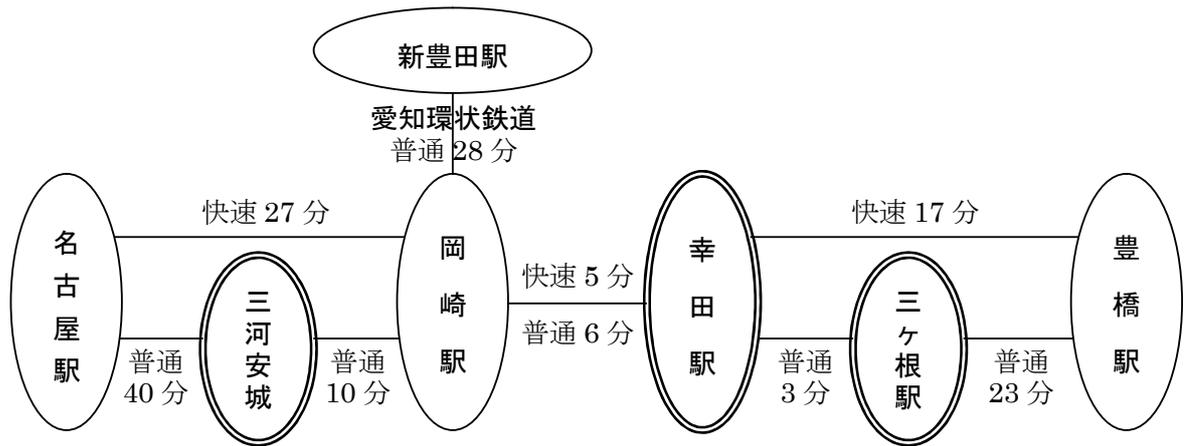
① 鉄道運行サービスの現状

- ・本町はJR 東海道本線が通っており、幸田駅、三ヶ根駅の2駅が開設されています。
- ・幸田駅は一部快速列車の停車駅で、快速列車で岡崎駅まで5分、名古屋駅まで32分、豊橋駅まで17分で連絡します。三ヶ根駅は普通列車が停車します。
- ・豊田市方面へは、岡崎駅で愛知環状鉄道に乗り換え、岡崎駅から新豊田駅まで28分で連絡します。
- ・新幹線については、こだま利用の場合 JR 三河安城駅、JR 豊橋駅で乗り継ぎ、ひかり・のぞみ利用の場合は JR 名古屋駅で乗り継ぎます。

*新幹線ひかりについては一部 JR 豊橋駅で乗り継ぎ可能な場合があります。



3. 都市および都市交通の特性の整理



- ・名古屋方面、豊橋方面ともに、平日は 56 本/日、朝夕のピーク時で 4 本/時、昼で 3 本/時運行しており、朝のピーク時は通勤客と通学客で混雑します。
- ・運賃は、幸田駅から名古屋駅まで 820 円、豊橋駅まで 400 円となっています。

■鉄道運行現況（2008 年 11 月 1 日現在）

		名古屋方面			豊橋方面		
幸田駅	平日	55 本/日	朝	4 本/時[8 時台]	56 本/日	朝	4 本/時[6・8 時台]
			昼	3 本/時		昼	3 本/時
			夕	4 本/時[17・18 時台]		夕	4 本/時[18・19 時台]
	土曜日 休日	57 本/日	朝	5 本/時[9 時台]	54 本/日	朝	4 本/時[6・8 時台]
			昼	3 本/時		昼	2~3 本/時
			夕	4 本/時[17・18 時台]		夕	4 本/時[15 時台]
三ヶ根 駅	平日	43 本/日	朝	4 本/時[7 時台]	43 本/日	朝	4 本/時[6 時台]
			昼	2 本/時		昼	2 本/時
			夕	3 本/時[17・20 時台]		夕	3 本/時[22 時台]
	土曜日 休日	44 本/日	朝	4 本/時[7 時台]	43 本/日	朝	4 本/時[6・7 時台]
			昼	2 本/時		昼	2 本/時
			夕	3 本/時[16・20 時台]		夕	3 本/時[22 時台]

■幸田駅から主要駅までの鉄道運賃（2008 年 11 月 1 日現在）

	幸田駅から	三ヶ根駅から
名古屋駅	820 円	950 円
三河安城駅	320 円	400 円
岡崎駅	190 円	230 円
新豊田駅	680 円	720 円
豊橋駅	400 円	400 円

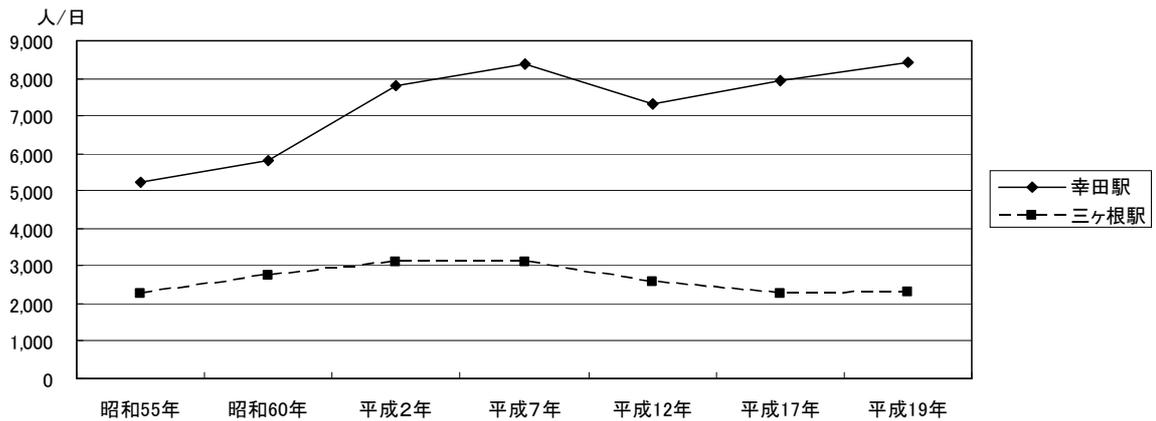
② 乗車人員の推移

- ・ 幸田駅の乗降客数は増加傾向にあります。これは、幸田駅の駅勢圏人口が増加していることに起因すると考えられます。
- ・ 一方、三ヶ根駅は減少傾向にあります。
- ・ 相見地区で新駅の開設が予定されています。

■乗降客数の推移

区分/年度		乗降客数 [人/日]	定期・定期外比率	
			定期	定期外
幸 田 駅	昭和55年	5,246	70.5%	29.5%
	昭和60年	5,802	73.1%	26.9%
	平成2年	7,800	76.4%	23.6%
	平成7年	8,360	77.7%	22.3%
	平成12年	7,318	74.8%	25.2%
	平成17年	7,920	73.0%	27.0%
	平成19年	8,404	74.0%	26.0%
三 ヶ 根 駅	昭和55年	2,276	66.2%	33.8%
	昭和60年	2,730	66.9%	33.1%
	平成2年	3,118	67.8%	32.2%
	平成7年	3,088	71.5%	28.5%
	平成12年	2,568	75.4%	24.6%
	平成17年	2,282	75.8%	24.2%
	平成19年	2,286	76.7%	23.3%

資料：こうたの統計（東海旅客鉄道（株））を元に計算



■乗降客数の推移（幸田駅、三ヶ根駅）

3. 都市および都市交通の特性の整理

③ 駅を利用する際の交通手段

- ・下表は、町内の2駅（幸田駅、三ヶ根駅）と隣接する2駅（岡崎駅、三河塩津駅）について、駅を利用する際の交通手段別の乗降客数を示しています。
- ・駅を利用する際の交通手段は、隣接する2駅に比べ、幸田駅、三ヶ根駅ともに自動車が多くなっています。特に、三ヶ根駅では自動車の比率が56.8%を占めています。
- ・これは、幸田駅では町営のP&R駐車場、三ヶ根駅では民間のP&R駐車場が整備されているため自動車の利便性が高いためと考えられます。
- ・幸田駅は三ヶ根駅と比較して、自転車の利用が多くなっています。これは、幸田高校の学生が利用していることが影響していると考えられます。

■ 駅を利用する際の交通手段別の乗降客数

駅名	駅を利用する交通手段	出勤・登校			自由・業務			帰宅			合計			計(比率)	
		乗車	降車	計	乗車	降車	計	乗車	降車	計	乗車	降車	計		
幸田	バス	0	466	466	0	36	36	371	0	371	371	502	873	14.5%	
	自動車	730	248	978	156	71	227	379	682	1,061	1,265	930	2,195	36.5%	
	うちP&R	319	-	-	71	-	-	78	-	-	468	-	-	-	
	うちK&R	411	-	-	85	-	-	131	-	-	627	-	-	-	
	自動二輪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	原付	86	0	86	42	0	42	0	128	128	128	128	256	4.3%	
	自転車	463	145	608	0	0	0	145	463	608	608	608	1,216	20.2%	
	徒歩	388	275	663	36	37	73	322	422	744	746	734	1,480	24.6%	
合計	1,667	1,134	2,801	234	73	307	1,217	1,695	2,912	3,118	2,902	6,020	100.0%		
三ヶ根	バス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	自動車	535	0	535	42	0	42	0	584	584	577	584	1,161	56.8%	
	うちP&R	285	-	-	0	-	-	0	-	-	285	-	-	-	
	うちK&R	250	-	-	42	-	-	0	-	-	292	-	-	-	
	自動二輪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	原付	86	0	86	0	0	0	0	86	86	86	86	172	8.4%	
	自転車	67	0	67	0	0	0	0	37	37	67	37	104	5.1%	
	徒歩	181	49	230	35	35	70	113	193	306	329	277	606	29.7%	
合計	869	49	918	77	35	112	113	900	1,013	1,059	984	2,043	100.0%		
参考	JR岡崎	バス	1,046	989	2,035	295	110	405	940	1,199	2,139	2,281	2,298	4,579	21.5%
		自動車	1,584	422	2,006	339	33	372	448	1,919	2,367	2,371	2,374	4,745	22.3%
		うちP&R	720	-	-	105	-	-	51	-	-	876	-	-	-
		うちK&R	864	-	-	148	-	-	26	-	-	1,038	-	-	-
		自動二輪	144	0	144	0	0	0	0	144	144	144	144	288	1.4%
		原付	451	0	451	29	0	29	0	480	480	480	480	960	4.5%
		自転車	1,948	339	2,287	42	142	184	339	1,903	2,242	2,329	2,384	4,713	22.1%
		徒歩	1,606	1,074	2,680	299	202	501	1,106	1,712	2,818	3,011	2,988	5,999	28.2%
	合計	6,779	2,824	9,603	1,004	487	1,491	2,833	7,357	10,190	10,616	10,668	21,284	100.0%	
	三河塩津	バス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
		自動車	186	105	291	0	0	0	105	186	291	291	291	582	23.4%
		うちP&R	92	-	-	0	-	-	0	-	-	92	-	-	-
		うちK&R	94	-	-	0	-	-	0	-	-	94	-	-	-
		自動二輪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
		原付	33	0	33	0	0	0	0	33	33	33	33	66	2.7%
自転車		329	0	329	59	0	59	0	280	280	388	280	668	26.9%	
徒歩	169	229	398	44	196	240	409	120	529	622	545	1,167	47.0%		
合計	717	334	1,051	103	196	299	514	619	1,133	1,334	1,149	2,483	100.0%		

※P&R (パークアンドライド) …自宅から自家用車で最寄りの駅またはバス停まで行き、車を駐車させた後、公共交通機関に乗り換えて目的地に向かう通勤・通学形態

K&R (キヤブライド) …自宅から最寄りの駅またはバス停まで自動車等で家族に送り迎えをしてもらう通勤・通学形態

出典：第4回中京都市圏パーソントリップ調査

【参考】地方都市圏の鉄道利用者の駅端末分担率(参考値)

	バス	タクシー	自動車	徒歩・二輪	乗車客比率の目安※
通勤型の駅※	9%	1%	15%	75%	0.8以上
中間型の駅※	8%	1%	5%	86%	0.3~0.8未満
都心型の駅※	11%	1%	2%	86%	0.3未満

※乗車客比率=乗車客数/乗降客数 (朝ピーク時)

通勤型の駅：郊外の住宅地を抱えるような駅

中間型の駅：駅周辺にある程度の商業集積をもちつつ後背地に住宅地を抱えるような駅

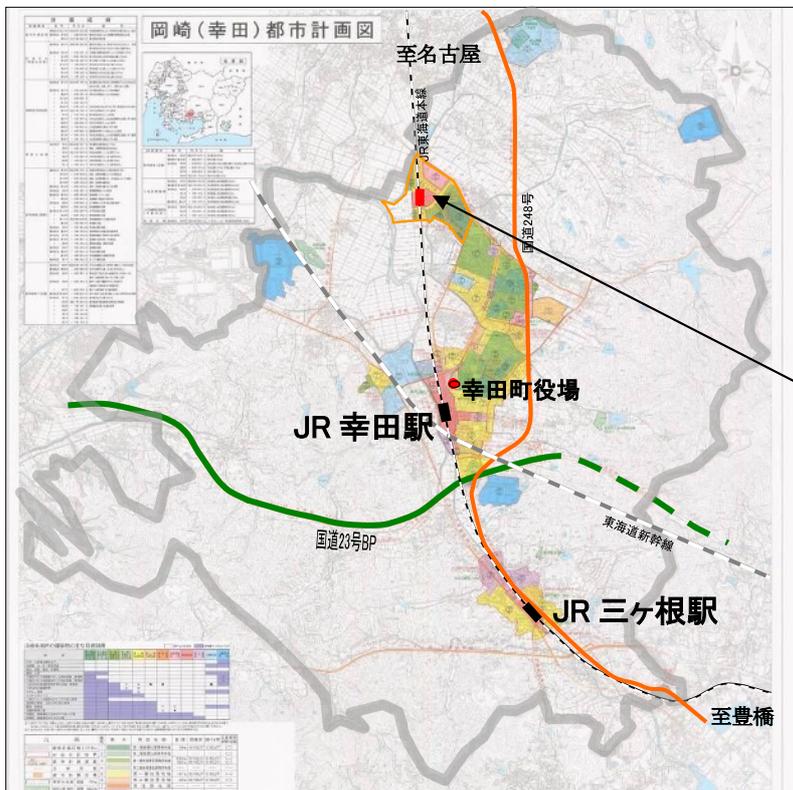
都心型の駅：商業・業務地を抱えるような駅

【資料：駅前広場計画指針(H.10)】

■東海道本線幸田・岡崎間新駅

東海道本線幸田・岡崎間新駅は、相見地区で平成23年度末に開業が予定されています。

幸田町の総合計画では、町の将来都市像として「3駅プラス1」構想を目指し、まちづくりを進めています。「3駅プラス1」構想とは、幸田駅、三ヶ根駅、新駅の周辺市街地とハッピーネス・ヒル・幸田周辺の交流拠点を加えた4極を都市核として、コンパクトでまとまりのあるまちづくりを誘導する土地利用計画のことで、将来人口5万人構想を展望して、持続可能なまちを目指す幸田町では、4極がそれぞれの特徴を持って連携するまちづくりを進めています。



JR 幸田・岡崎間新駅



イメージパース図

3. 都市および都市交通の特性の整理

(2) バス

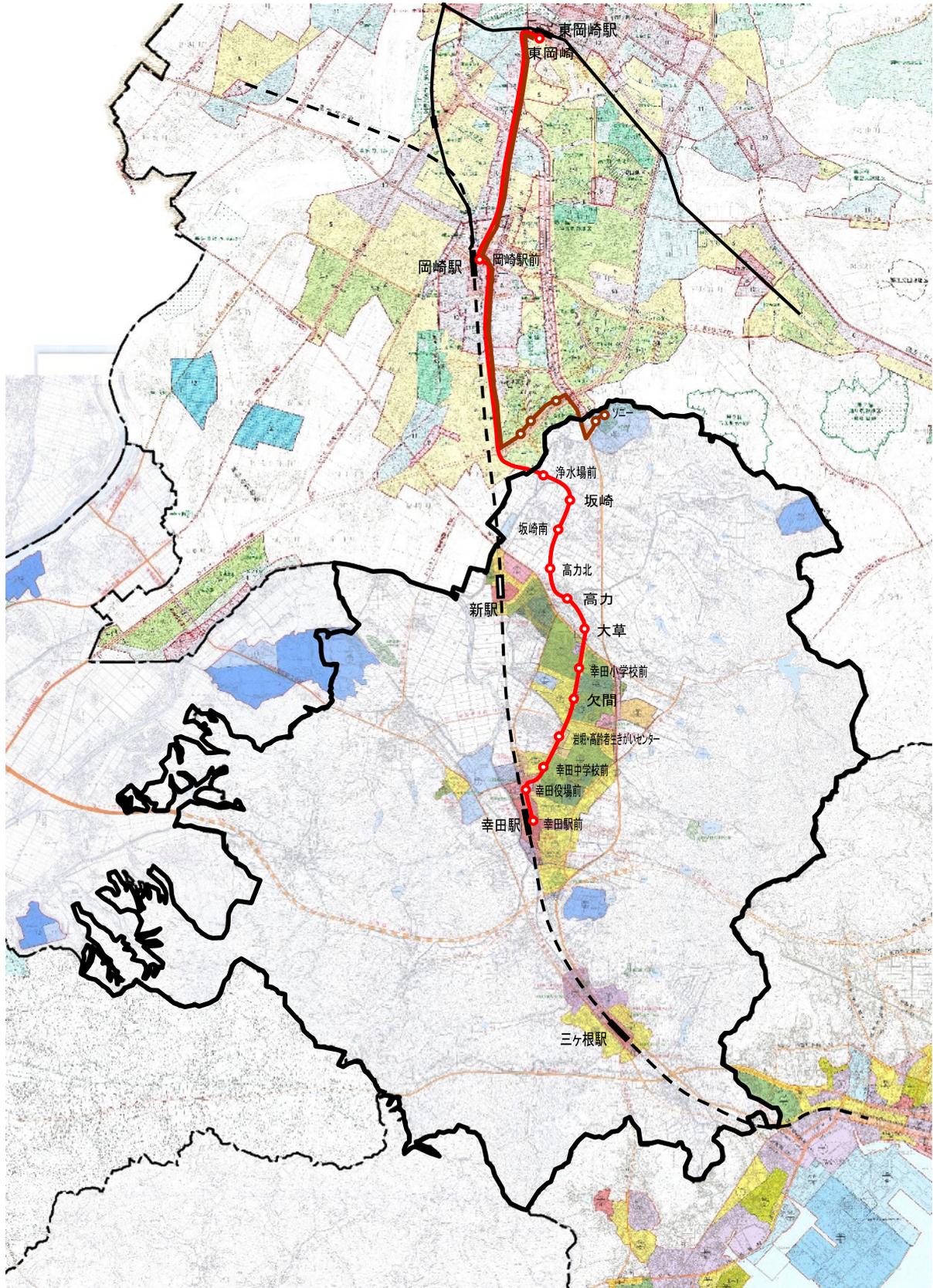
幸田町では、路線バスのほか、町営の福祉巡回バス、企業の通勤シャトルバスが運行しています。

①路線バス

- ・名鉄バスは、幸田駅前と岡崎駅前、東岡崎を結ぶ路線があり、平日に 20 本/日が運行しています。また、ソニーと岡崎駅前、東岡崎を結ぶ路線があり、平日に 7～9 本/日が運行しています。

■バス運行現況

	運行経路	運行本数[平日]		運賃
名鉄バス	幸田駅前－岡崎駅前 －東岡崎	行き	20 本/日(朝夕 2 本/時、昼 1 本/時)	160 円～ 550 円
		帰り	20 本/日 (朝 2 本/時、昼 1 本/時、夕 3 本/時)	
	ソニー－岡崎駅前－ 東岡崎	行き	9 本/日(朝 2 本/時、夕 1 本/時)	160 円～ 400 円
		帰り	7 本/日(朝夕 1 本/時)	



■バス路線図（名鉄バス）

3. 都市および都市交通の特性の整理

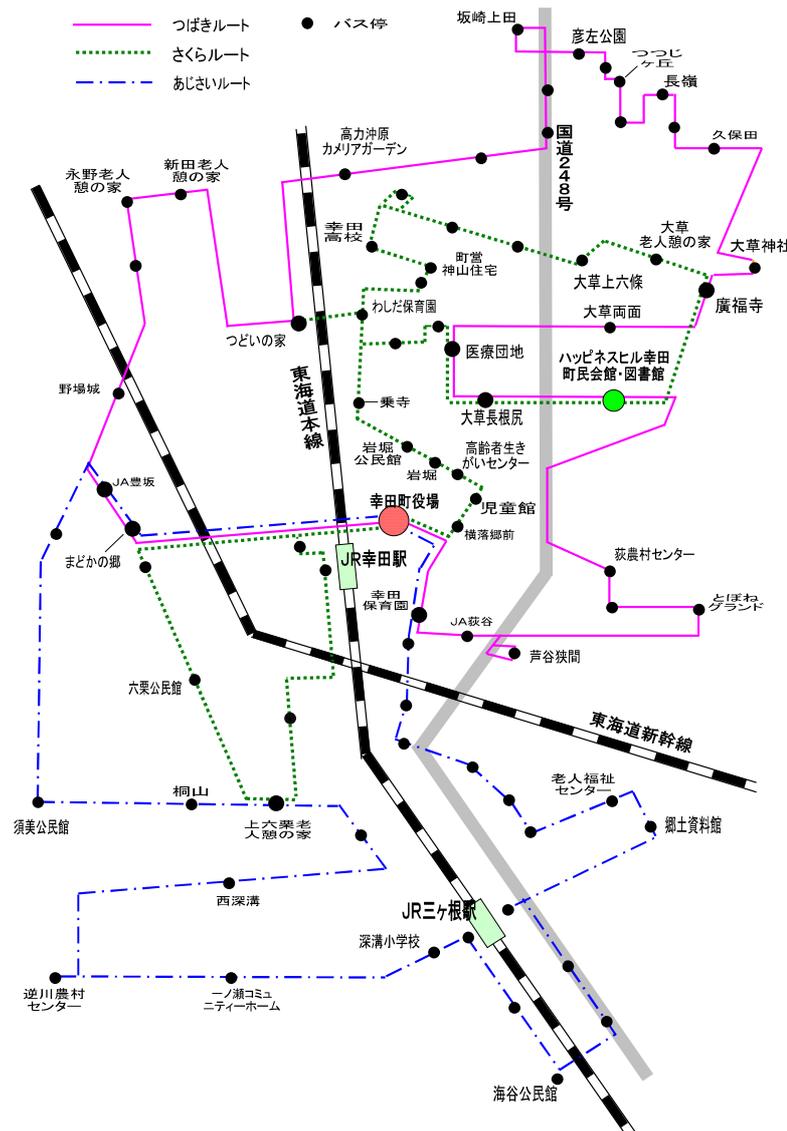
②福祉巡回バス

- ・幸田町福祉巡回バスは、平成8年から導入されています。
- ・バスルートは、「つばき」「さくら」「あじさい」の3ルートがあり、各3本/日が運行しています。

■福祉巡回バス運行現況

	運行経路	運行本数[平日]	巡回所要時間(役場ー役場)	運賃
つばき ルート	野場→坂崎→大草→萩	3本/日	60分	無料
	萩→大草→坂崎→野場	3本/日	60分	
あじさい ルート	芦谷→深溝→逆川→桐山→須美→野場	3本/日	52分	
	野場→須美→桐山→逆川→深溝→芦谷	3本/日	52分	
さくら ルート	岩堀→鷲田→大草→六栗	3本/日	55分	
	岩堀→大草→鷲田→六栗	3本/日	55分	

福祉巡回バス運行順路図



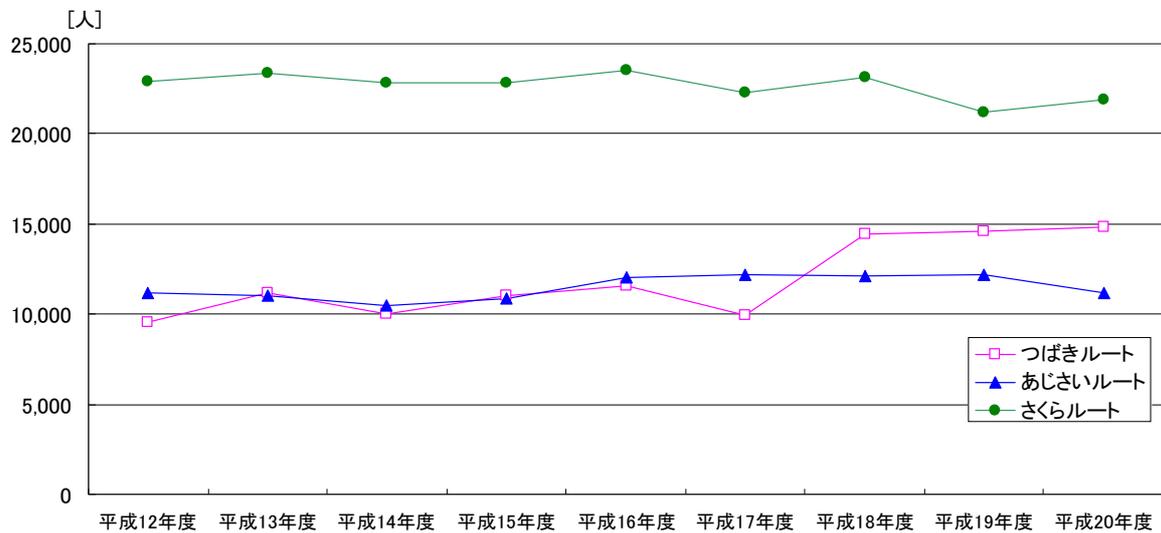
- ・福祉巡回バスの利用者数は、ほぼ横ばいで推移しています。
- ・さくらルートの利用者数は、23,000 人/年前後で推移しており、他の2ルートと比較して利用者数が多いです。
- ・あじさいルート、つばきルートの利用者数はほぼ同等で、10,000 人/年前後で推移しています。

■福祉巡回バス利用者数の推移

単位：[人/年]

年度	つばき	あじさい	さくら	合計	日平均[人/日]
平成 12 年度	9,550	11,147	22,929	43,626	167
平成 13 年度	11,167	11,061	23,348	45,576	174
平成 14 年度	9,999	10,477	22,805	43,281	163
平成 15 年度	11,009	10,846	22,841	44,696	172
平成 16 年度	11,551	11,999	23,504	47,054	179
平成 17 年度	9,920	12,165	22,296	44,381	170
平成 18 年度	14,413	12,125	23,101	49,639	189
平成 19 年度	14,589	12,153	21,187	47,929	182
平成 20 年度	14,852	11,190	21,904	47,946	184

出典：第5次幸田町総合計画、町資料



資料：第5次幸田町総合計画、町資料

■福祉巡回バス利用者数の推移

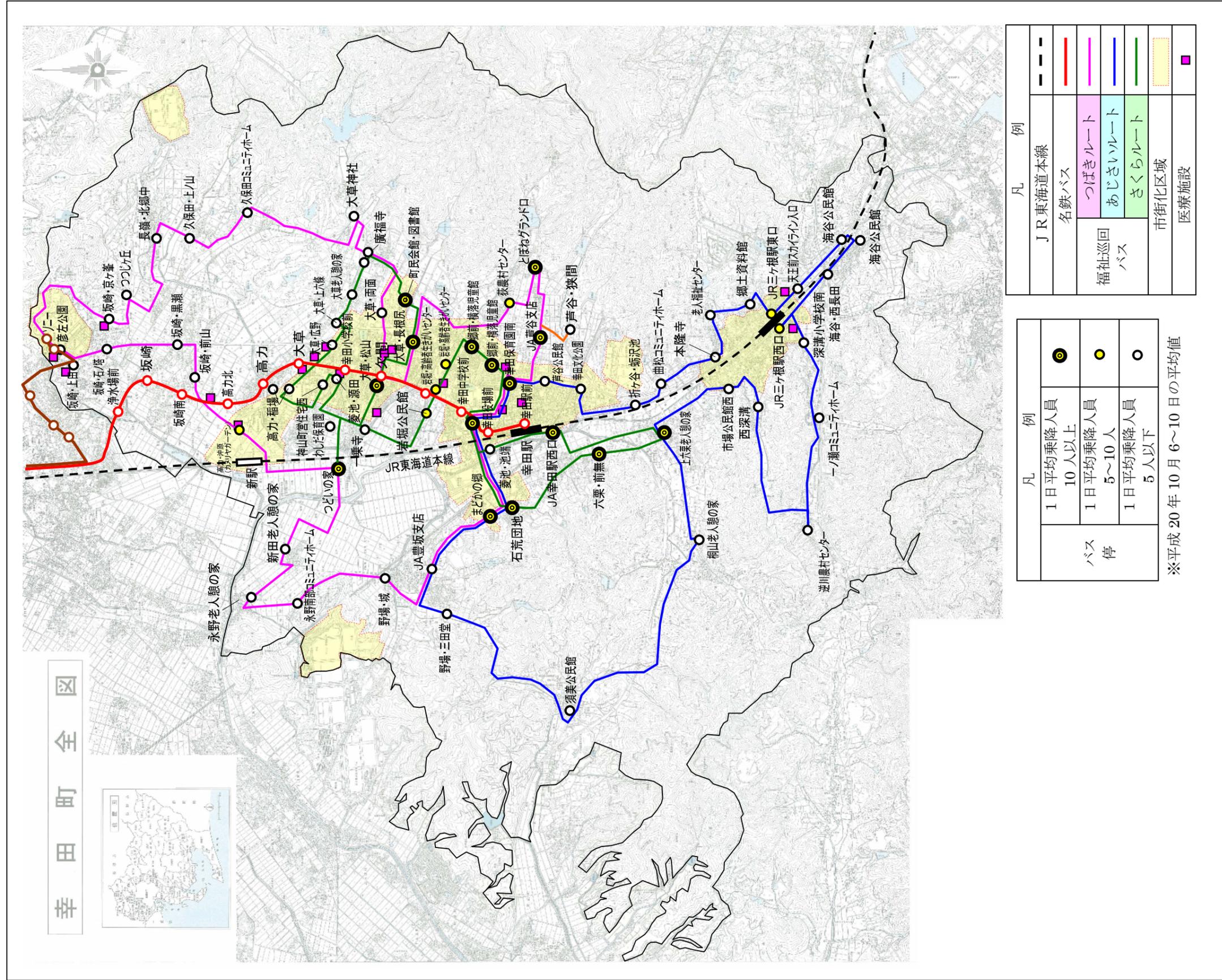
3. 都市および都市交通の特性の整理

- ・福祉巡回バスのバス停は、全てのルートが経由する「役場」が最も乗降人員が多くなっています。
- ・「六栗・前無」、「まどかの郷」、「上六栗老人憩の家」、「郷前・横落児童館役場周辺」など、比較的役場に近いバス停が多く利用されています。

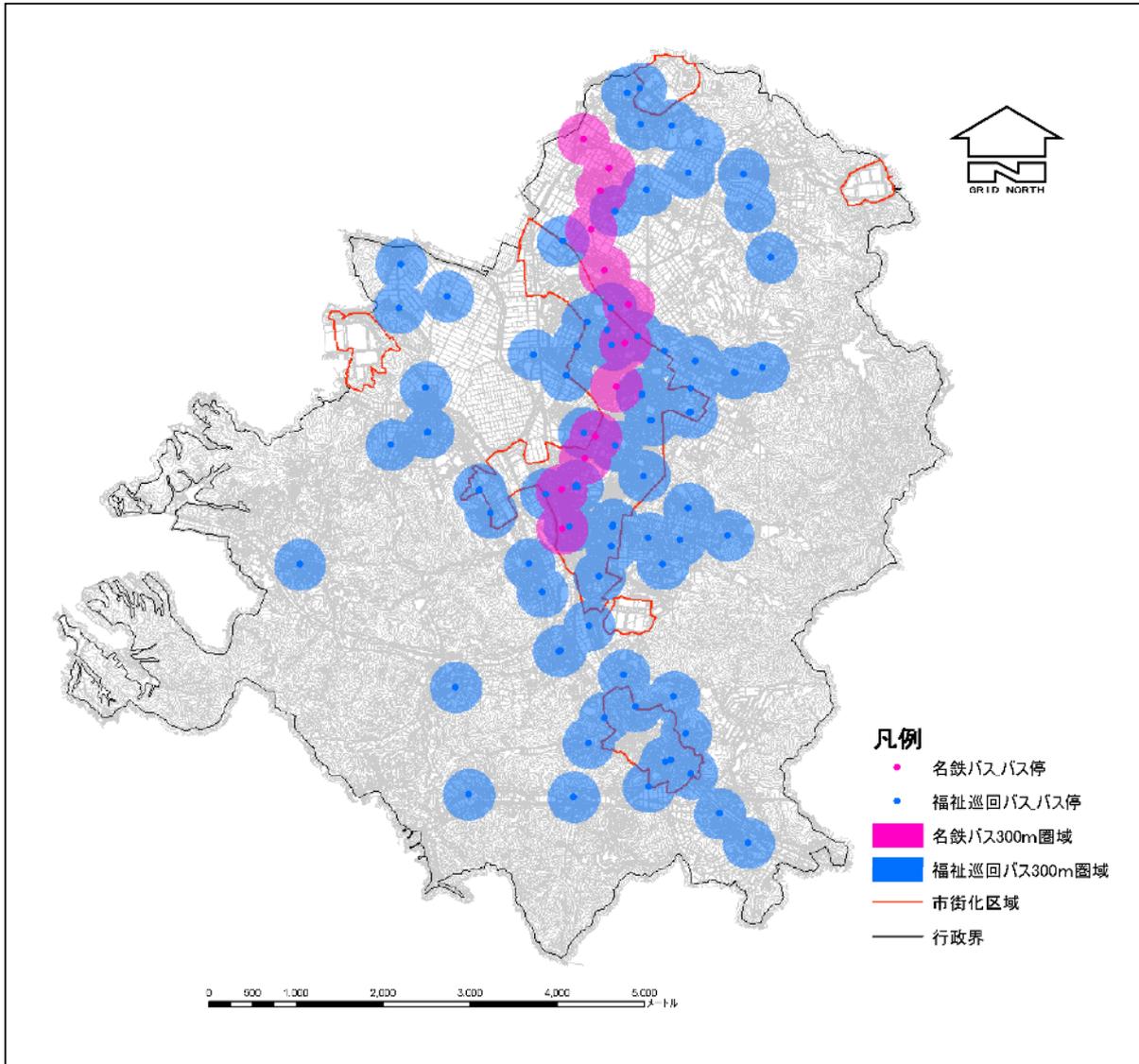
■福祉巡回バスのバス停（上位 10 箇所）における一日あたり平均乗降人員

バス停名	ルート	5日間計の平均 (人/日)
役場	つばきルート	24.8
	あじさいルート	17.0
	さくらルート	49.0
	計	90.8
六栗・前無（雇用促進住宅前）	さくらルート	28.8
まどかの郷	つばきルート	9.4
	あじさいルート	19.2
	計	28.6
上六栗老人憩の家	あじさいルート	14.0
	さくらルート	9.4
	計	23.4
郷前・横落児童館	さくらルート	23.4
J A 荻谷支店	つばきルート	17.4
大草・松山（医療団地内）	つばきルート	6.0
	さくらルート	10.4
	計	16.4
つどいの家	つばきルート	10.6
	さくらルート	5.2
	計	15.8
町民会館・図書館	つばきルート	0.8
	さくらルート	13.0
	計	13.8
とぼねグランドロ	つばきルート	13.6

※データは平成 20 年 10 月 6～10 日の実績値合計の平均



- ・市街化区域（工業区域は除く）では、概ねバス停から 300m 圏域に含まれています。



■バス停から 300m 以内圏域

③企業バス

- ・企業バスは㈱デンソーが幸田駅を起点に3経路（デンソー幸田製作所、西尾製作所、善明製作所の3ルート）、ソニーイーエムシーエス㈱東海テックが13経路（うち町内3路線）運行している。
- ・デンソー幸田製作所への企業バスは、幸田駅のほか、各寮（細井寮、すみれ寮、三ヶ根寮）から運行しています。
- ・デンソー西尾製作所への企業バスは、幸田駅のほか、西尾市内の中島バス停、碧南中央駅から運行しています。
- ・バス通勤者数は、幸田製作所で寮生を含め約1,500名、西尾製作所で3経路計200名程度です。（車通勤者は、幸田製作所で約2,800名、西尾製作所で約7,500名です。）
- ・ソニーイーエムシーエス㈱東海テックのバス通勤者は、町内3路線では平均40名程度（55人乗り）です。

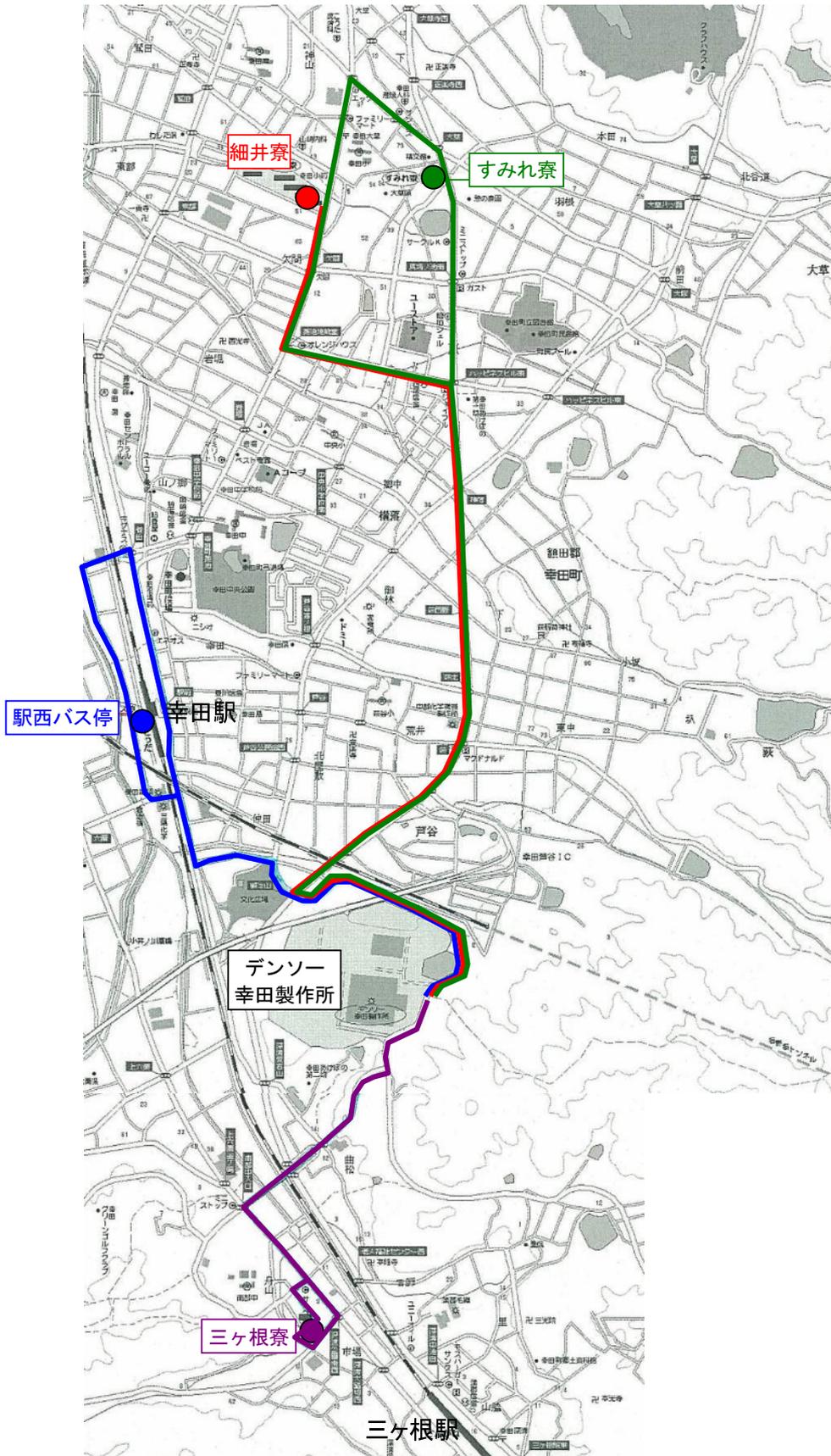
（※企業バスの詳細は、4-2. 企業ヒアリング調査の結果参照）



■企業バス（JR 幸田駅（西側））

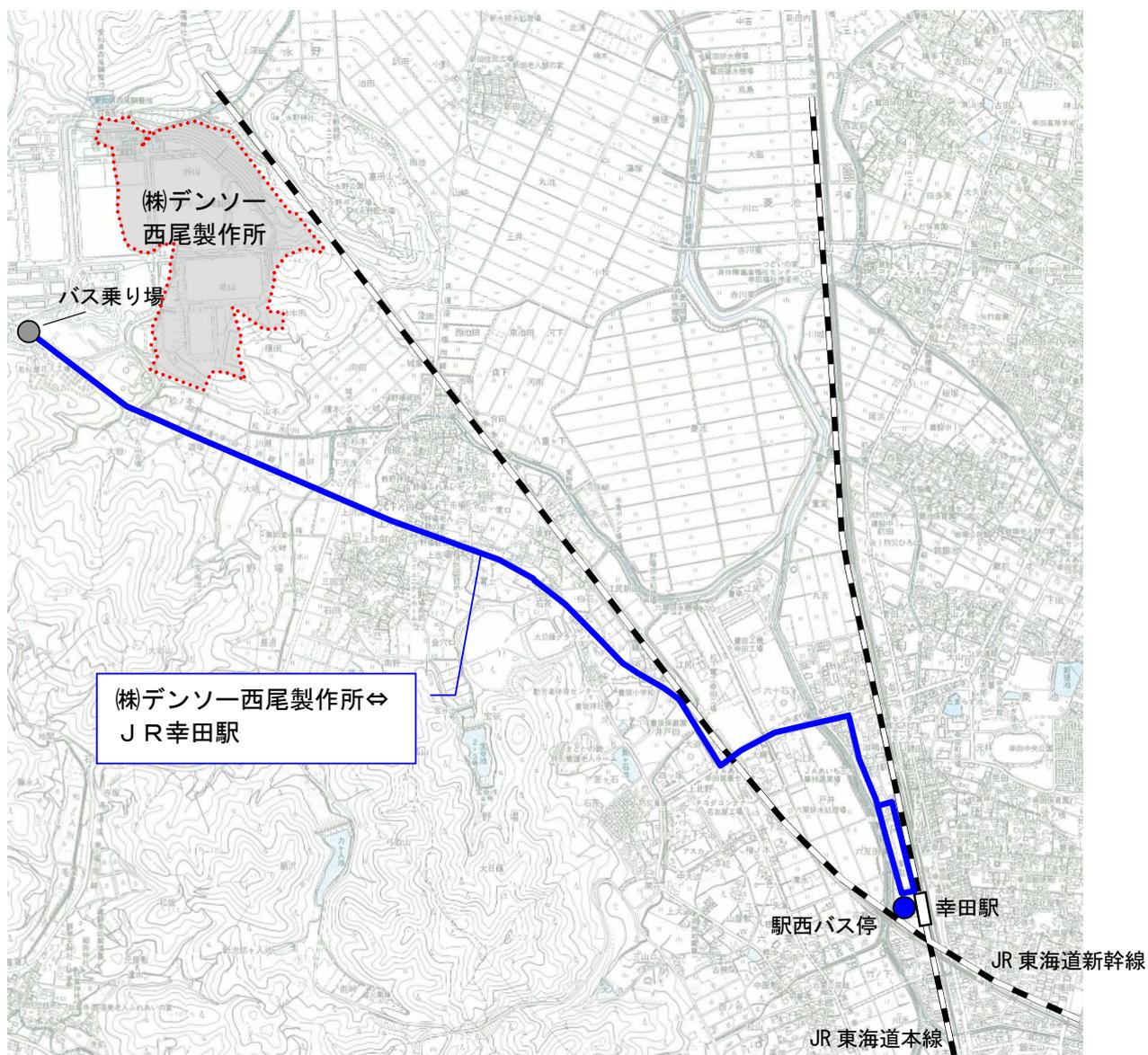
■企業バス運行現況[㈱デンソー、ソニーイーエムシーエス㈱東海テック]

行き先	運行本数[平日]	運行頻度		
		朝ピーク時	昼	夕ピーク時
デンソー幸田製作所	27本/日	9本/時 [8時台]	-	3本/時 [18時台]
デンソー西尾製作所	33本/日	6本/時 [7時台]	1本/時	4本/時 [18時台]
デンソー善明製作所	1本/日	1本/時 [7時台]	-	-
ソニーイーエムシーエス㈱東海テック	6本/日 (町内3ルート)	1本/時 [7時台]	-	1本/時



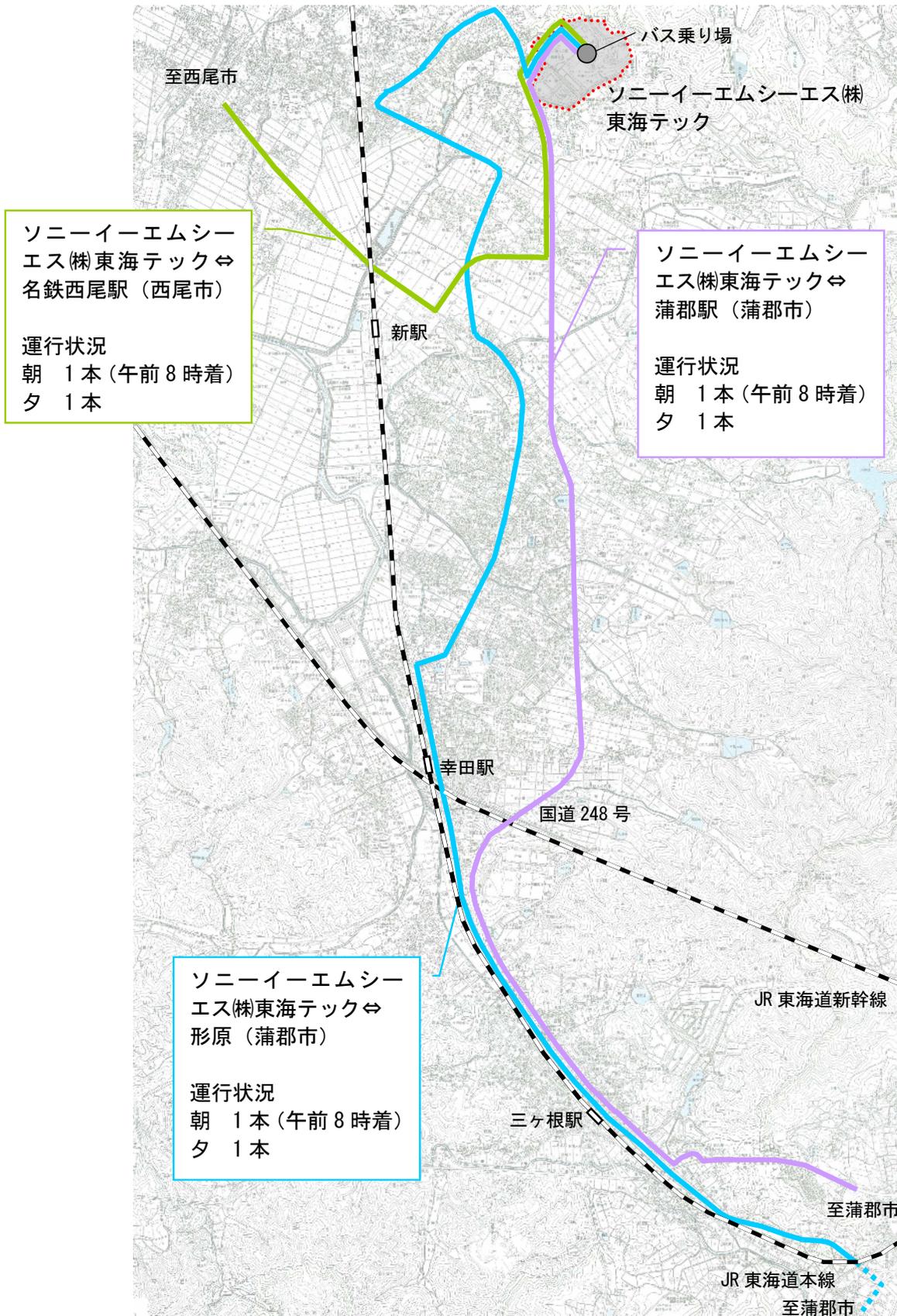
■デンソー幸田製作所の企業バス運行ルート

3. 都市および都市交通の特性の整理



(注) デンソー西尾製作所への企業バスは、上記の幸田駅のほか、中島バス停、碧南中央駅(西尾駅経由)からも運行している。

■デンソー西尾製作所の企業バス運行ルート



(注) ソニーイーエムシーエス(株)東海テックへの企業バスは全部で13ルートが運行している。上記は町内の3ルートのみ表示。それ以外は、岡崎から国道248号経由するルート。

■ソニーイーエムシーエス(株)東海テックの企業バス運行ルート

3. 都市および都市交通の特性の整理

(3) 福祉送迎サービス

①福祉有償運送

- ・NPOや社会福祉法人などの非営利法人が、高齢者や障害者などの公共交通機関を使用して移動することが困難な人を対象に、通院、通所、レジャーなどを目的に有償で行う自動車による移送サービスを提供しています。
- ・幸田町では幸田町福祉有償運送運営協議会での協議を得て、2団体（特定非営利活動法人 大樹の会、(社)ポテト福祉会）が以下のとおり実施しました。平成20年度からは1団体（特定非営利活動法人 大樹の会）の実施となります。

■福祉有償運送実績

年	月	会員数 (人)				輸送回数 (回)				輸送距離 (km)				
		身体障害	要介護	その他	計	身体障害	要介護	その他	計	身体障害	要介護	その他	計	
18	3	2			2				0				0.0	
	4	2			2				0				0.0	
	5	2			2	8			8	111.0			111.0	
	6	2			2	6			6	62.0			62.0	
	7	3			3	7			7	53.0			53.0	
	8	3			3	6			6	35.0			35.0	
	9	3			3	8			8	94.0			94.0	
	10	4			4	15			15	298.0			298.0	
	11	4			4	4			4	18.0			18.0	
	12	4			4	11			11	174.2			174.2	
	19	1	4			4	4			4	126.0			126.0
		2	4			4	6			6	113.0			113.0
3		4			4	10			10	91.0			91.0	
4		4			4	9			9	224.0			224.0	
5		4			4	13			13	152.0			152.0	
6		4			4	9			9	139.0			139.0	
7		4			4	12			12	183.0			183.0	
8		4			4	12			12	202.0			202.0	
9		4			4	12			12	133.0			133.0	
10		4			4	11			11	135.0			135.0	
11		4			4	8			8	229.2			229.2	
12		4			4	8			8	72.0			72.0	
					179	0	0	179	2644.4	0.0	0.0	2644.4		

②介護保険関係の介護輸送

- ・介護保険では通院等の為の通院等乗降介助や介護施設が行う利用者を対象とした送迎が行われています。

通院等乗降介助

介護保険では一定の介護度以上の方を対象に、通院等のために訪問介護員等が、自ら運転する自動車などへの乗車・降車を介助するサービスがあり、次のとおり実施されています。

■介護保険乗降介助実績

利用月	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	人数	延利用回数	人数	延利用回数	人数	延利用回数
4月	11	58	11	104	13	100
5月	11	56	9	118	13	103
6月	9	51	10	116	15	114
7月	13	75	12	115	10	92
8月	11	78	13	112	13	91
9月	10	81	12	102	14	109
10月	6	43	12	99	11	111
11月	5	42	9	81	11	106
12月	6	46	16	103	10	82
1月	12	81	13	117	14	129
2月	14	114	13	124	8	85
3月	13	119	13	99	13	106
計	121	844	143	1,290	145	1,228

介護施設が行う送迎

デイサービス・ショートステイを利用する介護保険認定者を対象に次の施設で送迎が行われています。

送迎実施介護施設

- ・たいよう
- ・つつじヶ丘
- ・デイルーム幸田
- ・まどかの郷

③福祉タクシー

- ・幸田町では特定の要件を満たす心身障害者の外出を支援するため、年間 35,000 円分のタクシー料金を助成しています。平成 18、19 年度ではほぼ 100 名を超える方の利用があります。

■福祉タクシー実績

年度	利用者数	枚数	金額
平成 18 年度	97	1,538	1,091,550
平成 19 年度	126	3,461	2,316,700
平成 20 年度	175	8,216	2,985,500

※平成 18 年度までは初乗り(630 円)+迎え(110 円)の 740 円券を年間 48 枚交付

※平成 19 年度からは制度改正し、1 人あたり 200 円券 50 枚/年 500 円券 50 枚/年

3-2-3. 交通結節点等の整備状況

各鉄道駅の乗り換え・乗り継ぎ施設の状況を以下に示します。

(1) 幸田駅

1) 駅舎

- ・平成20年に駅舎のバリアフリー化が完了しており、エレベータ2機、多機能トイレが設置されています。

2) 駅前広場

①現状

- ・幸田駅の駅前広場は、東口、西口ともに都市計画決定されています。(東口1,640㎡、西口6,500㎡)
- ・西口駅前広場は現在、町営駐車場と駐輪場として利用されています。
- ・東口と西口は、地下通路で連絡しています。

②バリアフリー化の状況

- ・駅前広場については、バリアフリー対応となっていません。

③交通施設の状況

a) バス

- ・名鉄バスの乗降場は、東口駅前広場の北側に設置されています。
- ・福祉巡回バスと企業バスの乗降場は西口駅前広場に設置されています。
- ・公共交通利用促進の観点から、路線バス、福祉循環バスへの乗継利便性の向上が必要です。

b) タクシー

- ・東口駅前広場にはタクシーの乗降場があり、シェルターも整備されています。

c) 一般車

- ・東口駅前広場は一般車の乗り入れが可能となっており、送迎のためのスペースとして利用されています。
- ・ピーク時の円滑な交通処理を行うために、一般車の駐停車位置を明示するなど、タクシー、一般車の動線を明確にする必要があります。

④環境空間の整備状況

- ・ 駅前広場は、都市の玄関口や人々の交流の場として「都市の広場」の役割を担っています。
- ・ 現在の駅前広場は幸田町の玄関口として必ずしも十分な整備水準とはいえないため、「交流機能」、「景観機能」、「防災機能」等を備えた環境空間の整備が必要です。

3) 駐車場

- ・ 西口に 214 台+159 台、東口に 40 台の町営駐車場が整備されており、主に P&R 用に利用されています。
- ・ そのほか、東口駅前広場北側に、駅短時間駐車場と商店街利用者専用駐車場があります。

4) 駐輪場

- ・ 駐輪場は、東口と西口を合わせて 724 台分確保されています。
- ・ 自転車は鉄道末端交通手段として重要な役割を果たすもので、今後も自転車利用を促進する上で需要に応じた駐輪場を確保するとともに、駅までの主要なルートにおける自転車走行空間の整備が必要です。

5) JR 幸田駅の利用実態

幸田駅周辺の賑わい創出に向けて、駅周辺整備の検討資料とするために、JR 幸田駅の利用実態調査を実施しています。以下にその調査結果を示します。

①乗降の状況

- ・ 駅の乗降客は約 6,700 人で、このうち約 1,000 人程度が学生です。
- ・ 乗車のピークは 7 時台で約 31%が集中し、降車のピークは 8 時台で約 15%が集中するため、8 時前後に乗車と降車の両方が錯綜し、駅ロータリー内が混雑します。

②地下通路

- ・ 駅西側からの利用者はすべて地下通路を利用するため、地下通路利用者が多く、約 2,660 人が地下通路を往来しています。

③自転車・歩行者

- ・ 駅東側での駅利用者の駅までの交通手段は、徒歩・自転車が最も多く約 1,870 人です。このうち、自転車利用者は約 970 人となっています。

3. 都市および都市交通の特性の整理

④一般車

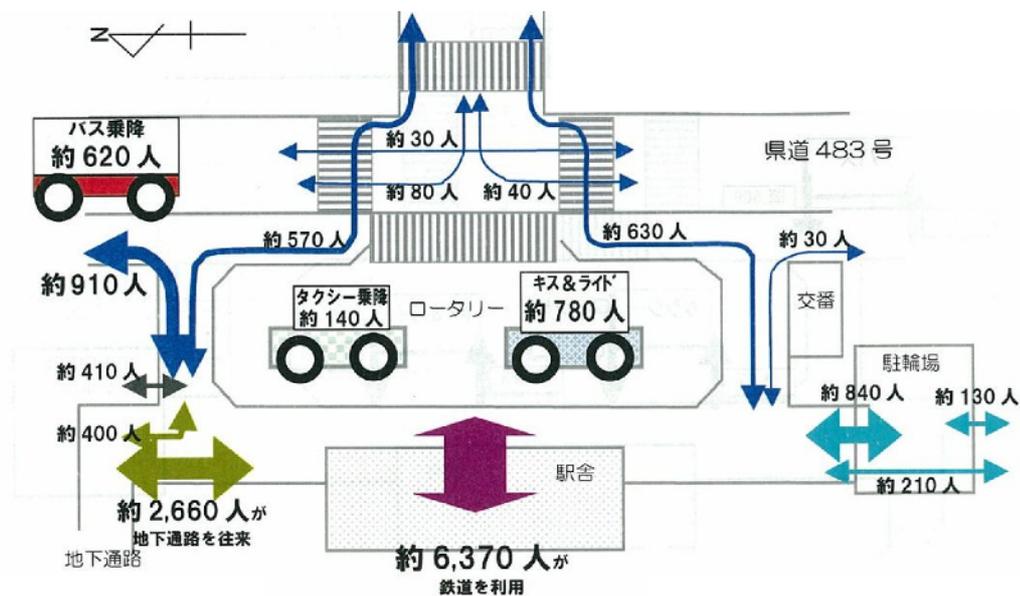
- ・ キス&ライドの利用者は約 780 人で、乗車より降車の方が多く、行きと帰りで別の交通の人が多いです。降車は7時台の一時間に集中しています。

⑤バス

- ・ バスの利用者は約 620 人となっています。バスは企業バス利用者が多く、夕方は 18 時～20 時に降車のピークとなります。

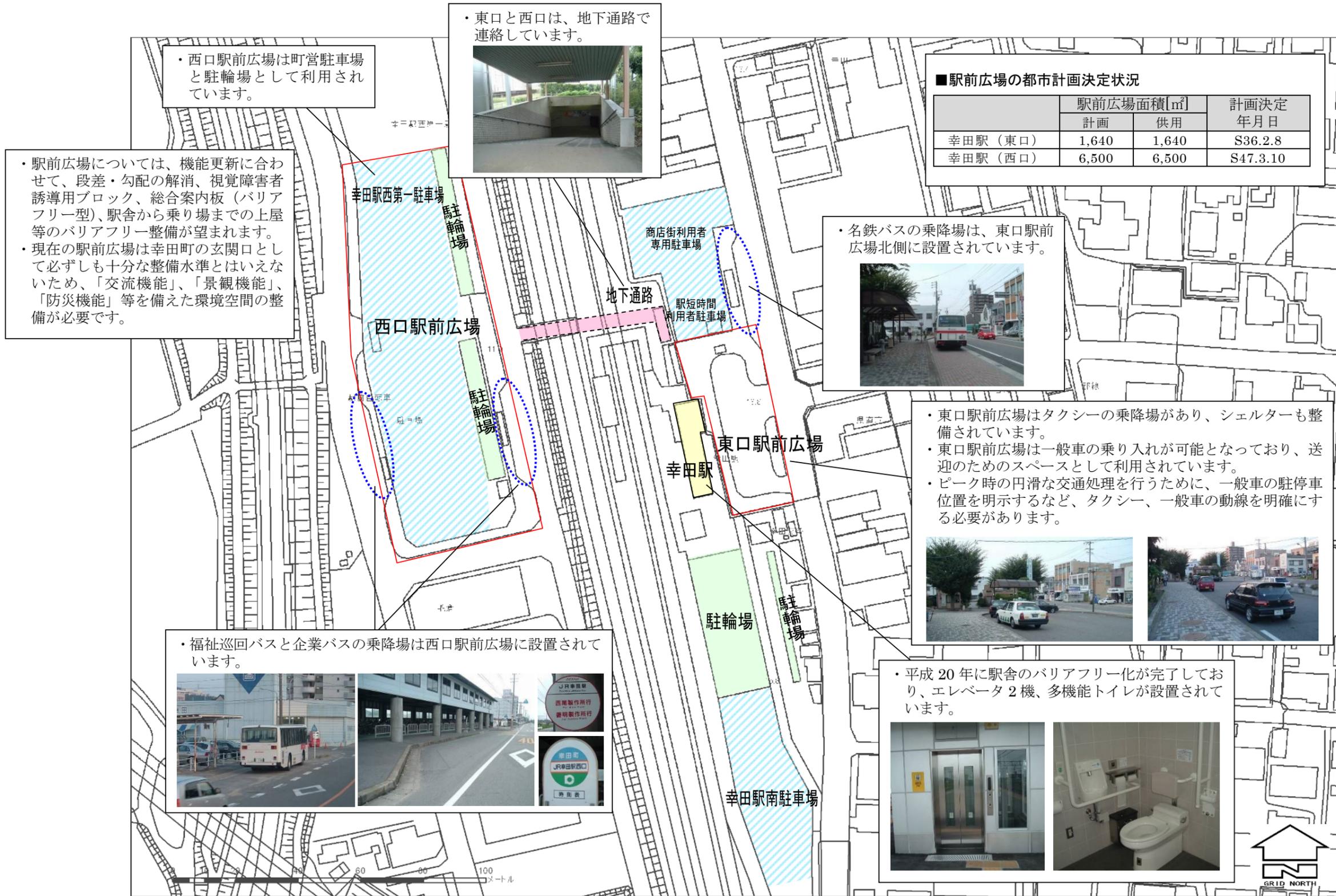
⑥タクシー

- ・ タクシーは周辺企業の影響により、9時や13時に乗車が多くなっています。



出典：JR 幸田駅利用実態調査(H18.3)

■幸田駅周辺の人往来 (6:00~22:00)



・西口駅前広場は町営駐車場と駐輪場として利用されています。

・東口と西口は、地下通路で連絡しています。



・駅前広場については、機能更新に合わせて、段差・勾配の解消、視覚障害者誘導用ブロック、総合案内板(バリアフリー型)、駅舎から乗り場までの上屋等のバリアフリー整備が望まれます。
 ・現在の駅前広場は幸田町の玄関口として必ずしも十分な整備水準とはいえないため、「交流機能」、「景観機能」、「防災機能」等を備えた環境空間の整備が必要です。

■駅前広場の都市計画決定状況

	駅前広場面積[m ²]		計画決定年月日
	計画	供用	
幸田駅(東口)	1,640	1,640	S36.2.8
幸田駅(西口)	6,500	6,500	S47.3.10

・名鉄バスの乗降場は、東口駅前広場北側に設置されています。



・東口駅前広場はタクシーの乗降場があり、シェルターも整備されています。
 ・東口駅前広場は一般車の乗り入れが可能となっており、送迎のためのスペースとして利用されています。
 ・ピーク時の円滑な交通処理を行うために、一般車の駐停車位置を明示するなど、タクシー、一般車の動線を明確にする必要があります。



・福祉巡回バスと企業バスの乗降場は西口駅前広場に設置されています。



・平成20年に駅舎のバリアフリー化が完了しており、エレベータ2機、多機能トイレが設置されています。



(2) 三ヶ根駅周辺の都市交通施設

1) 駅舎

- ・三ヶ根駅は、エレベーター等の昇降設備がなく、バリアフリー化されていません。

2) 駅前広場

①現状

- ・東口、西口ともに、駅前広場として都市計画決定されていませんが、ロータリーが整備されています。

②バリアフリー化の状況

- ・駅前広場については、バリアフリー対応となっていません。

③交通施設の状況

a) バス

- ・東口、西口ともに、福祉巡回バスの乗降場が設置されています。

b) タクシー

- ・タクシーの乗降場は東西どちらにも設置されていません。

c) 一般車

- ・送迎スペースは確保されていませんが、ロータリー内に送迎車両が停車しています。

④環境空間の整備状況

- ・西口には、コミュニティホーム休憩所があります。

3) 駐車場

- ・駅周辺には、民間駐車場が多く立地しています（約 450 台分）。

4) 駐輪場

- ・駐輪場は、東口に 60 台、西口に 115 台+95 台、計 270 台分が確保されています。



• 三ヶ根駅東口、西口ともに、駅前広場として都市計画決定されていないが、ロータリーが整備されています。



東口



西口



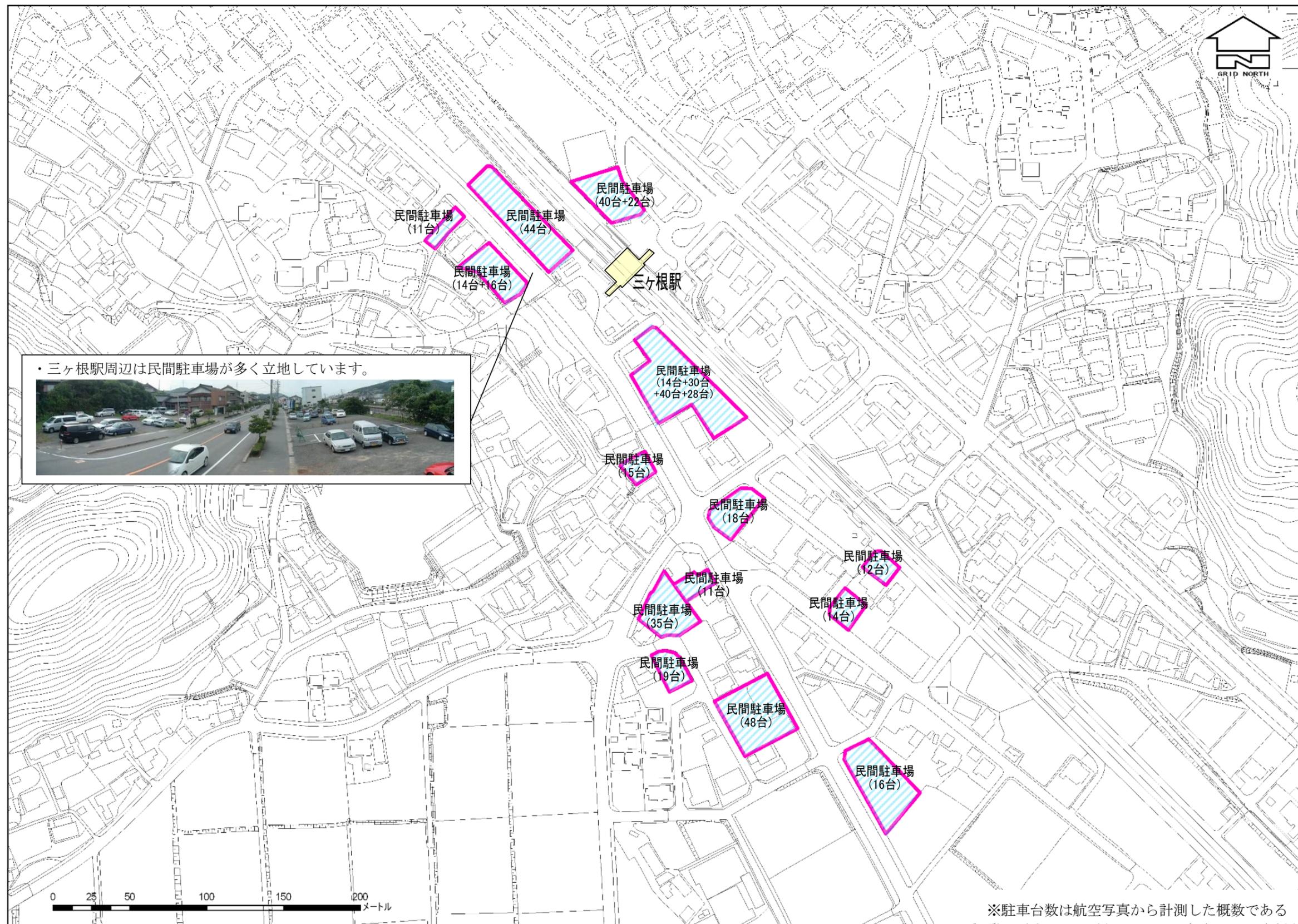
• 福祉巡回バスの乗降場が設置されています。



• 三ヶ根駅は、昇降設備がなく、バリアフリー化されていません。



■三ヶ根駅周辺の施設現況



■ 三ヶ根駅周辺における駐車場整備状況

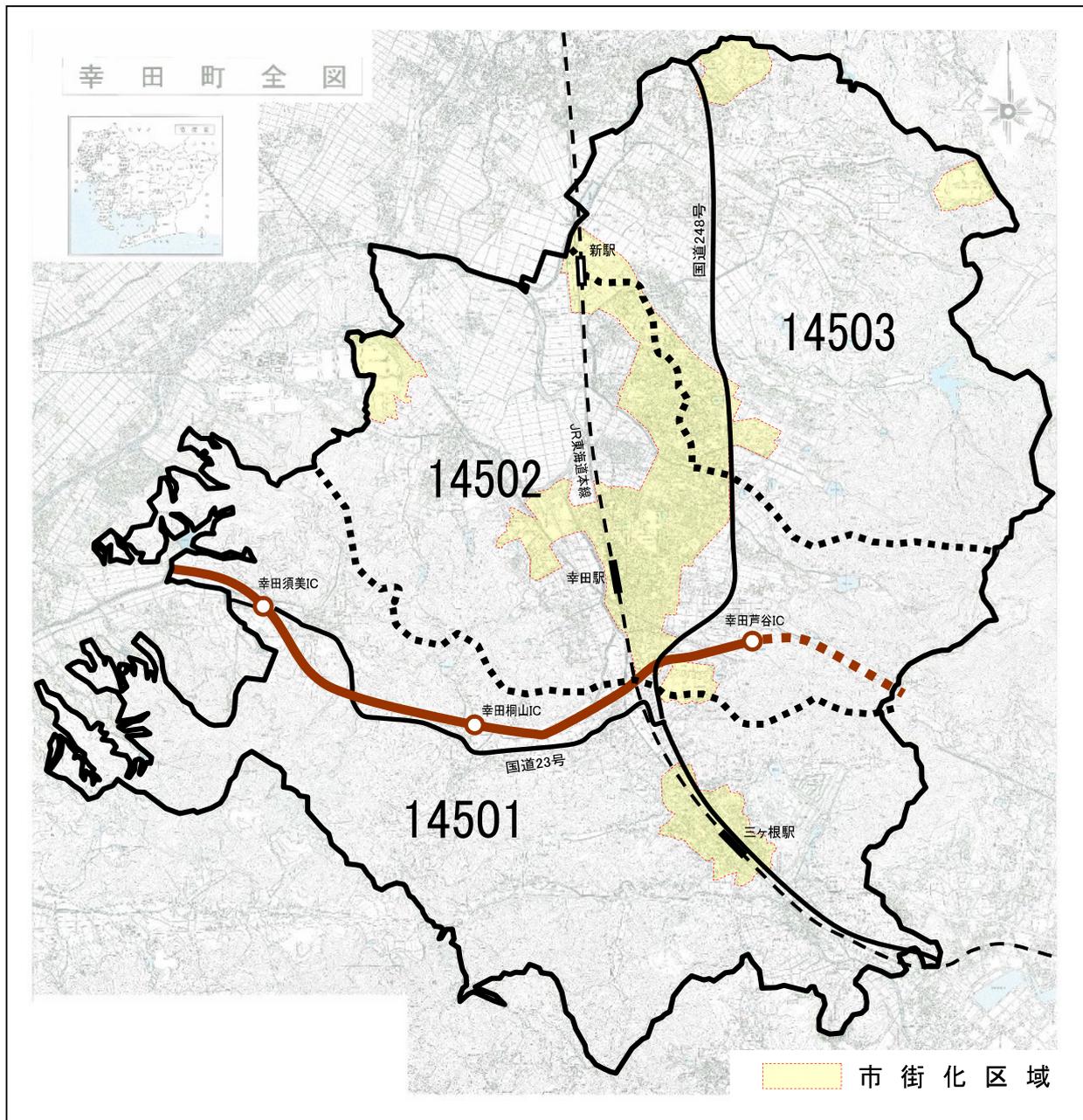
3-2-4. 交通特性

(1) 幸田町の交通流動

①目的別代表交通手段

幸田町の人の動きの特性について、平成 17 年に実施したパーソントリップ調査により把握します。パーソントリップ調査とは、「どのような人が、いつ、どこからどこへ、どんな目的で、どんな交通手段で移動しているか」を把握することを目的とした調査です。

幸田町では、調査区が3つ(14501,14502,14503)に分かれています。



■ パーソントリップ調査ゾーン図

3. 都市および都市交通の特性の整理

- ・幸田町への流入、幸田町からの流出の 8~9 割は、自動車を利用しています。ゾーン番号 14502 は、幸田駅を含んでおり、幸田町への流入・幸田町からの流出の約 1 割が鉄道を利用しています。
- ・幸田町内の移動は、自動車の利用が 5~6 割と最も多く、次いで徒歩が多くなっています。
- ・全目的に対する幸田町内移動率（内々率）は、20~30%であり、町外への流出入の割合が高いです。

■ 目的別代表交通手段別交通流動量

ゾーン 番号	代表交通手段	出 勤			登 校			自 由			業 務			帰 宅			合 計		
		内々	流出	流入	内々	流出	流入	内々	流出	流入									
14501	鉄 道	0	268	49	0	43	0	0	113	35	0	0	0	0	49	329	0	473	413
	バ ス	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0
	自 動 車	148	1,479	1,045	103	0	90	768	1,361	868	316	794	637	972	1,550	2,719	2,307	5,184	5,359
	原付・バイク	0	106	33	0	0	0	0	33	0	33	33	0	0	33	172	33	205	205
	自 転 車	37	53	30	43	43	86	38	94	0	0	0	0	118	156	234	236	346	350
	徒 歩	46	0	0	424	77	51	544	33	0	0	0	0	766	51	110	1,780	161	161
	合 計 (下段:内々率)	231	1,906	1,157	570	163	227	1,350	1,678	903	349	827	637	1,856	1,839	3,564	4,356	6,413	6,488
14502	鉄 道	0	890	831	0	532	73	0	69	37	0	37	37	0	914	1,472	0	2,442	2,450
	バ ス	0	37	0	0	0	0	0	32	0	0	0	0	0	0	32	0	69	32
	自 動 車	1,637	3,928	6,554	229	245	0	3,136	3,260	1,945	946	2,048	2,421	4,749	8,394	6,979	10,697	17,875	17,899
	原付・バイク	121	68	284	0	0	0	0	0	64	0	0	150	121	591	68	242	650	566
	自 転 車	136	67	33	252	256	0	369	0	30	70	159	0	849	33	452	1,685	515	515
	徒 歩	162	21	86	1,534	557	206	696	80	94	326	0	0	2,494	338	680	5,212	996	1,066
	合 計 (下段:内々率)	2,056	5,011	7,788	2,015	1,590	279	4,201	3,441	2,170	1,351	2,244	2,608	8,213	10,270	9,683	17,836	22,556	22,528
14503	鉄 道	0	223	256	0	217	38	0	39	0	0	79	31	0	294	443	0	852	768
	バ ス	0	33	0	0	0	60	0	0	76	0	0	0	0	92	33	0	125	169
	自 動 車	668	3,691	3,539	77	69	283	1,257	2,383	3,256	152	1,362	1,334	1,787	5,886	5,041	3,941	13,391	13,453
	原付・バイク	37	68	77	0	0	0	0	70	107	0	0	0	37	114	68	74	252	252
	自 転 車	102	0	230	258	43	328	179	30	33	51	0	30	590	635	43	1,180	708	664
	徒 歩	479	38	21	543	129	557	432	94	80	170	0	0	1,520	680	261	3,144	941	919
	合 計 (下段:内々率)	1,286	4,053	4,123	878	458	1,266	1,868	2,616	3,552	372	1,441	1,395	3,934	7,701	5,889	8,339	16,269	16,225

出典：第 4 回中京都市圏パーソントリップ調査

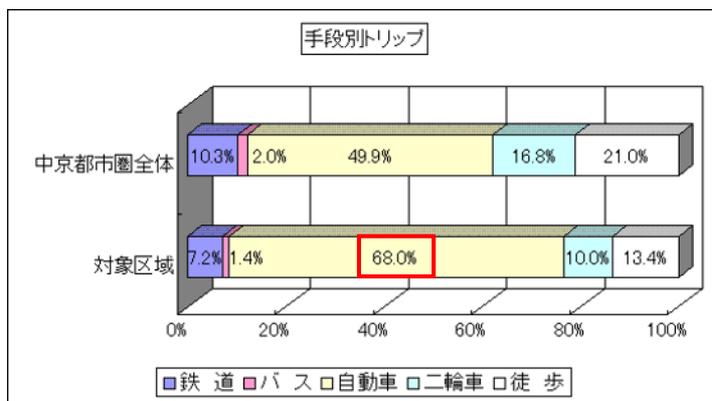
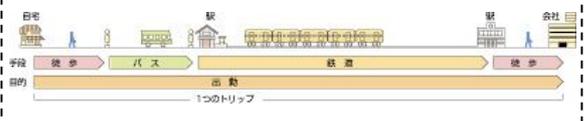


図 幸田町の代表交通手段別分担率

出典：第 4 回中京都市圏パーソントリップ調査

代表交通手段とは・・・

- ・移動の際に利用する交通手段としては、鉄道、バス、自動車、二輪（自転車、原付・自動二輪車）、徒歩、その他（飛行機や船など）があります。
- ・1つのトリップの中でいくつかの交通手段を用いている場合、そのトリップの中で利用した主な交通手段を代表交通手段とします。
- ・代表交通手段は、鉄道→バス→自動車→二輪（自転車、原付・自動二輪車）→徒歩の順で最も優先順位が高いものとなります。下の例では鉄道が代表交通手段となります。



② 都市別流出入交通手段

- ・都市別の流出・流入先は、岡崎市が一番多く、次いで蒲郡市、西尾市、安城市、名古屋市が上位を占めています。
- ・利用交通手段は、名古屋市、刈谷市、豊橋市の順で電車を利用する人の割合が高くなっています。その他の市町村では自動車を利用する人が大半を占めています。

■幸田町から流出する人の代表交通手段（トリップ数の割合）

流出先	鉄道	バス	自動車	原付・バイク	自転車	徒歩・その他	計
幸田町	0.0% (0)	0.3% (108)	60.7% (25,711)	1.5% (617)	8.9% (3,757)	28.7% (12,150)	100.0% (42,343)
岡崎市	2.9% (415)	0.9% (130)	88.1% (12,636)	3.1% (440)	5.0% (721)	0.0% (0)	100.0% (14,342)
蒲郡市	5.3% (304)	0.0% (0)	89.9% (5,108)	2.4% (139)	1.8% (101)	0.6% (33)	100.0% (5,685)
西尾市	0.0% (0)	0.0% (0)	96.5% (2,809)	2.4% (70)	1.1% (31)	0.0% (0)	100.0% (2,910)
安城市	10.9% (225)	0.0% (0)	85.0% (1,763)	2.3% (48)	1.8% (37)	0.0% (0)	100.0% (2,073)
名古屋市	69.1% (1,185)	0.0% (0)	30.9% (530)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (1,715)
刈谷市	43.6% (539)	0.0% (0)	50.5% (624)	5.8% (72)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (1,235)
豊田市	10.0% (92)	0.0% (0)	87.5% (806)	0.0% (0)	2.5% (23)	0.0% (0)	100.0% (921)
豊橋市	32.9% (303)	0.0% (0)	67.1% (618)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (921)
幡豆町	0.0% (0)	0.0% (0)	83.8% (475)	7.2% (41)	0.0% (0)	9.0% (51)	100.0% (567)

出典：第4回中京都市圏パーソントリップ調査

■幸田町へ流入する人の代表交通手段（トリップ数の割合）

流入元	鉄道	バス	自動車	原付・バイク	自転車	徒歩・その他	計
幸田町	0.0% (0)	0.3% (108)	60.7% (25,711)	1.5% (617)	8.9% (3,757)	28.7% (12,150)	100.0% (42,343)
岡崎市	2.6% (373)	0.7% (93)	88.8% (12,512)	2.5% (347)	5.1% (721)	0.3% (48)	100.0% (14,094)
蒲郡市	5.3% (309)	0.0% (0)	90.8% (5,335)	2.4% (139)	1.0% (61)	0.6% (33)	100.0% (5,877)
西尾市	0.0% (0)	0.0% (0)	94.9% (2,669)	3.9% (111)	1.1% (31)	0.0% (0)	100.0% (2,811)
安城市	10.5% (225)	0.0% (0)	85.5% (1,824)	2.2% (48)	1.7% (37)	0.0% (0)	100.0% (2,134)
名古屋市	65.9% (1,139)	0.0% (0)	34.1% (590)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (1,729)
刈谷市	46.5% (539)	0.0% (0)	47.3% (548)	6.2% (72)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (1,159)
豊橋市	28.4% (268)	0.0% (0)	71.6% (676)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (944)
豊田市	11.8% (92)	0.0% (0)	85.2% (663)	0.0% (0)	3.0% (23)	0.0% (0)	100.0% (778)
幡豆町	0.0% (0)	0.0% (0)	91.3% (536)	0.0% (0)	0.0% (0)	8.7% (51)	100.0% (587)

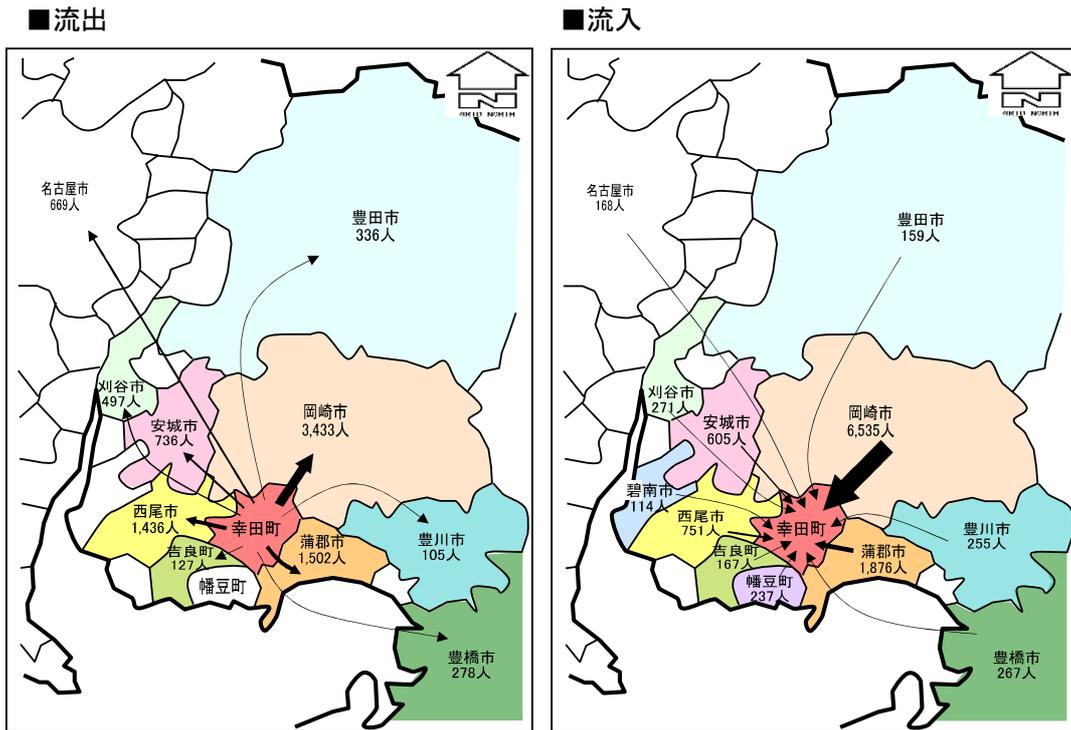
出典：第4回中京都市圏パーソントリップ調査

3. 都市および都市交通の特性の整理

(2) 通勤通学流動

① 通勤流動

- ・平成 17 年における通勤流動は、流出が 9,794 人、流入が 12,487 人と流入が流出を 2,693 人上回っています。
- ・通勤の流出、流入ともに、岡崎市が一番多く、次いで蒲郡市、西尾市、安城市が上位を占めています。



注：100 人以上を表示

■通勤流動

区分	通勤者 (人)	備考
幸田町常住の通勤者	19,438	
町内に通勤する者	9,644	
町外に通勤する者 (流出)	9,794	・岡崎市、蒲郡市、西尾市、安城市、名古屋市の順
幸田町に通勤する通勤者	22,131	
町内に常住する者	9,644	
町外に常住する者 (流入)	12,487	・岡崎市、蒲郡市、西尾市、安城市、豊橋市の順

資料：国勢調査 (H17)

- ・通勤の流出量、流入量ともに多い岡崎市、蒲郡市、西尾市など隣接する市町村では、自動車を利用する人が大半を占めており、渋滞箇所では道路整備等の連携強化が必要です。一方、名古屋市、刈谷市では、鉄道利用者の割合が高くなっています。
- ・自動車トリップのうち、可能なものは鉄道への転換を促す施策が必要です。

■幸田町から流出する通勤者の代表交通手段（出勤目的のトリップ数の割合）

流出先	鉄道	バス	自動車	原付・バイク	自転車	徒歩・その他	計
幸田町内	0.0% (0)	0.0% (0)	75.8% (4,096)	4.8% (259)	5.6% (305)	13.8% (746)	100.0% (5,406)
岡崎市	5.4% (151)	2.5% (70)	91.1% (2,554)	0.0% (0)	1.1% (30)	0.0% (0)	100.0% (2,805)
蒲郡市	4.2% (59)	0.0% (0)	93.4% (1,312)	2.4% (33)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (1,404)
西尾市	0.0% (0)	0.0% (0)	94.6% (1,232)	5.4% (70)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (1,302)
名古屋市	67.1% (578)	0.0% (0)	32.9% (284)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (862)
安城市	0.0% (0)	0.0% (0)	95.5% (782)	0.0% (0)	4.5% (37)	0.0% (0)	100.0% (819)
豊田市	10.4% (49)	0.0% (0)	84.7% (398)	0.0% (0)	4.9% (23)	0.0% (0)	100.0% (470)
刈谷市	66.0% (258)	0.0% (0)	34.0% (133)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (391)
豊橋市	52.9% (118)	0.0% (0)	47.1% (105)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (223)

出典：第4回中京都市圏パーソントリップ調査

■幸田町へ流入する通勤者の代表交通手段（出勤目的のトリップ数の割合）

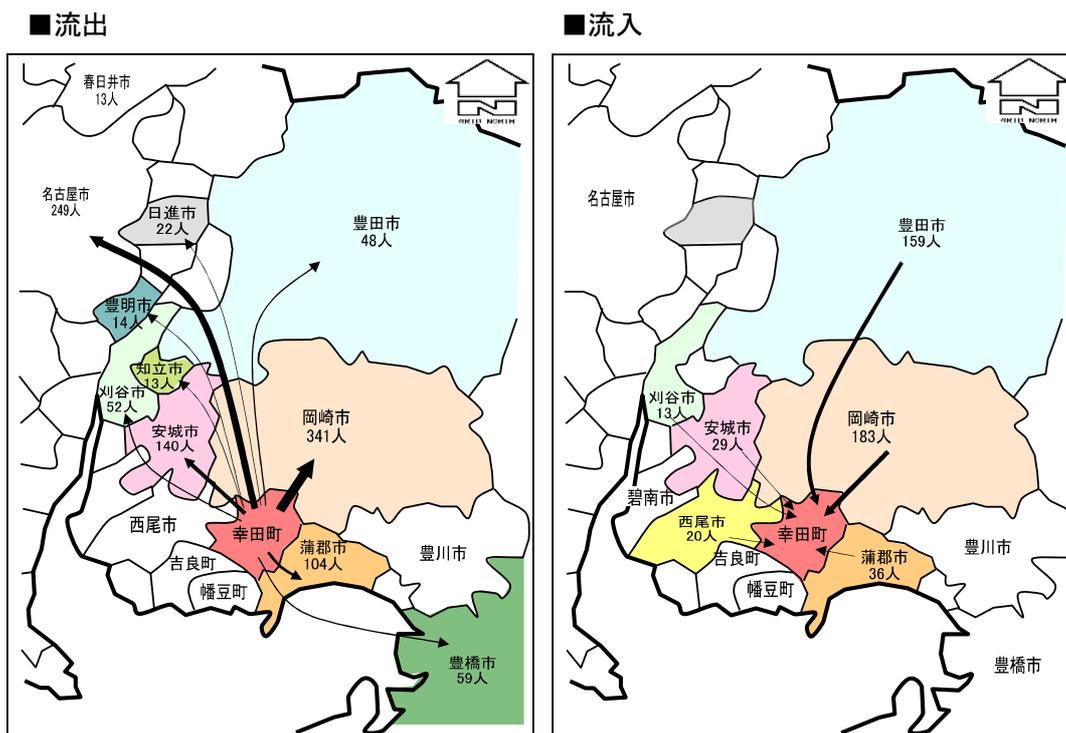
流入元	鉄道	バス	自動車	原付・バイク	自転車	徒歩・その他	計
幸田町内	0.0% (0)	0.0% (0)	75.8% (4,096)	4.8% (259)	5.6% (305)	13.8% (746)	100.0% (5,406)
岡崎市	2.6% (137)	0.0% (0)	89.2% (4,774)	2.4% (131)	4.9% (263)	0.9% (48)	100.0% (5,353)
蒲郡市	9.3% (202)	0.0% (0)	88.7% (1,920)	1.9% (42)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (2,164)
安城市	13.4% (101)	0.0% (0)	80.2% (604)	6.4% (48)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (753)
刈谷市	43.2% (281)	0.0% (0)	45.7% (297)	11.1% (72)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (650)
西尾市	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (638)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (638)
豊田市	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (149)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (149)
名古屋市	62.3% (71)	0.0% (0)	37.7% (43)	0.0% (0)	0.0% (0)	0.0% (0)	100.0% (114)

出典：第4回中京都市圏パーソントリップ調査

3. 都市および都市交通の特性の整理

② 通学流動

- ・平成 17 年における通学流動は、流出が 1,149 人、流入が 303 人と流出が流入を 846 人上回っています。
- ・通学の流出は、岡崎市が一番多く、次いで名古屋市、安城市、蒲郡市、豊橋市が上位を占め、流入は岡崎市が一番多く、次いで豊田市、蒲郡市、安城市、西尾市が上位を占めています。



注：10 人以上を表示

■ 通学流動

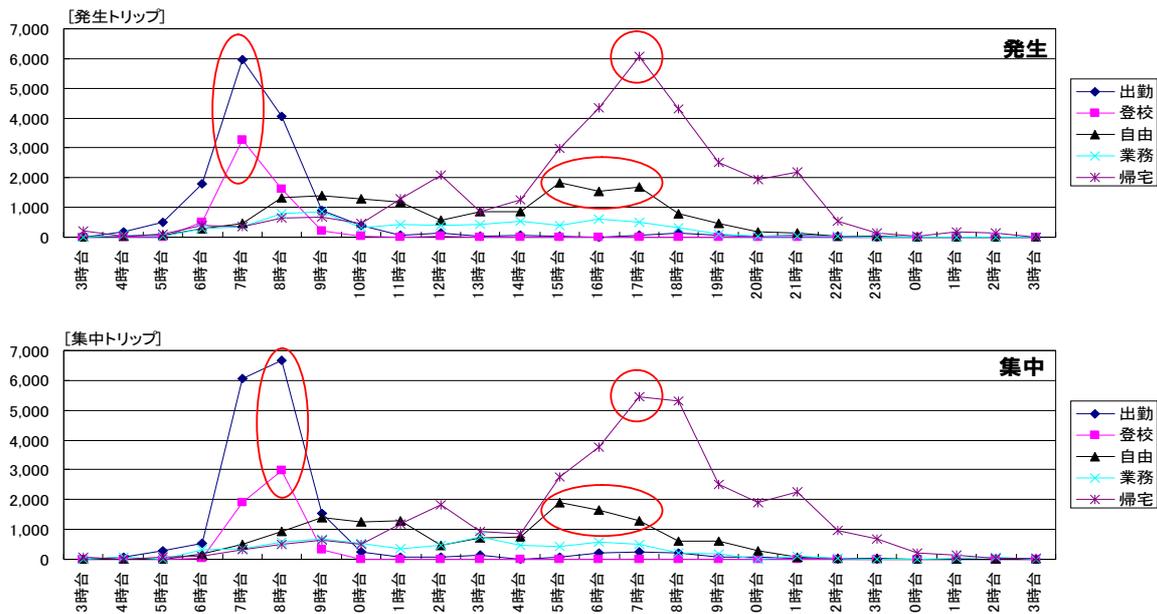
区 分	通学者 (人)	備 考
幸田町常住の通学者	1,808	
町内に通学する者	659	
町外に通学する者 (流出)	1,149	・岡崎市、名古屋市、安城市、蒲郡市、豊橋市の順
幸田町に就学する通学者	962	
町内に常住する者	659	
町外に常住する者 (流入)	303	・岡崎市、豊田市、蒲郡市、安城市、西尾市の順

資料：国勢調査 (H17)

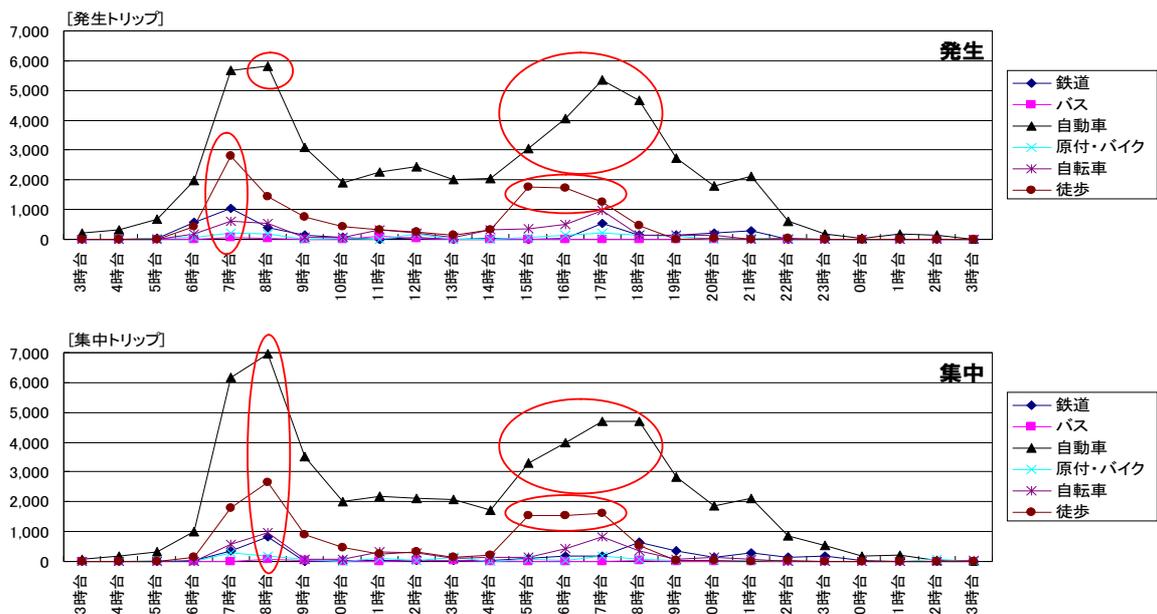
(3) 時間帯別トリップ数

- ・出勤及び登校のピークは発生が7時台、集中が8時台、帰宅のピークは発生・集中ともに17時台となっています。自由目的は15～17時台に増えています。
- ・すべての代表交通手段において発生のピークが7時台（自動車のみ8時台）、集中のピークが8時台となっています。自動車のトリップ数は15時台から増え始め、18時台でピークとなります。徒歩のトリップ数は、15～17時台に増えています。

■ 目的別時間帯別トリップ数[幸田町]



■ 代表交通手段別時間帯別トリップ数[幸田町]

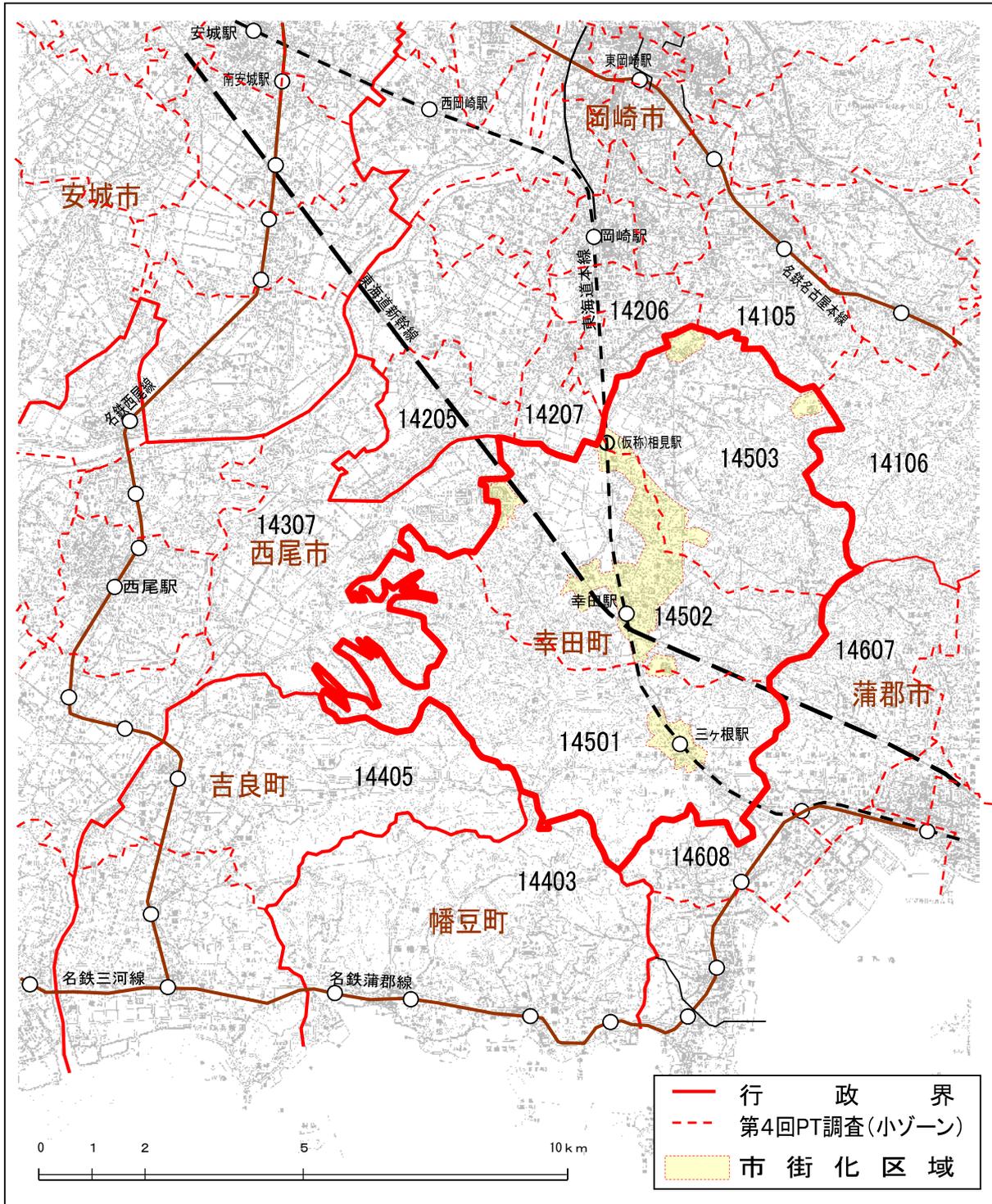


出典：第4回中京都市圏パーソントリップ調査

(4) 利用駅別鉄道端末交通手段

平成 17 年に実施したパーソントリップ調査により、各ゾーンの利用駅別鉄道端末交通手段は次頁の通りです。ゾーンは、幸田町内の調査区 3 地区（14501,14502,14503）に加え、幸田町に隣接する調査区 10 箇所を対象とします。

- ・三ヶ根駅を含むゾーン番号 14501 は、三ヶ根駅の利用が最も多く、徒歩、自動車の利用が多くなっています。
- ・幸田駅を含むゾーン番号 14502 は、大半が幸田駅の利用で、駅までの交通手段は自動車、徒歩、自転車、バスの順となっています。
- ・ゾーン番号 14503 は、幸田駅と岡崎駅の間に位置するため、双方の駅の利用がほぼ同等となっています。今後、相見地区で新駅が開設されれば、新駅の利用が最も多くなることが予想されます。
- ・ゾーン番号 14307(西尾市)は、幸田駅の利用が最も多く、大半が自動車とバスを利用しています。
- ・ゾーン番号 14403(幡豆町)、14608(蒲郡市)は、三ヶ根駅を利用している人が比較的多く、その多くが自動車を利用しています。



3. 都市および都市交通の特性の整理

■ゾーン別利用駅における鉄道端末交通手段[幸田町]

単位：[トリップ]

町村名	ゾーン番号	駅名	乗車					降車						
			バス	自動車	原付バイク	自転車	徒歩	合計	バス	自動車	原付バイク	自転車	徒歩	合計
幸田町	14501	JR 三ヶ根	0	118	0	30	211	359	0	76	0	0	223	299
		JR 幸田	0	0	0	43	36	79	0	0	0	43	36	79
		JR 三河大塚	0	35	0	0	0	35	0	35	0	0	0	35
	14502	JR 幸田	209	853	86	393	688	2,229	296	694	86	393	676	2,145
		JR 岡崎	0	65	0	0	0	65	0	65	0	0	0	65
		愛知環状 岡崎	0	0	0	43	0	43	0	0	0	43	0	43
		JR 三ヶ根	0	0	0	37	0	37	0	0	0	37	0	37
		名鉄 南安城	0	37	0	0	0	37	0	37	0	0	0	37
		名鉄 東岡崎	31	0	0	0	0	31	31	0	0	0	0	31
		JR 豊橋	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	55
		名鉄 美合	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0	37
	14503	JR 幸田	0	192	0	141	22	355	44	58	0	141	22	265
		JR 岡崎	38	148	89	38	0	313	0	186	89	0	0	275
		愛知環状 岡崎	0	113	0	0	0	113	0	113	0	0	0	113
		JR 蒲郡	0	40	0	0	0	40	0	40	0	0	0	40
名鉄 美合		0	31	0	0	0	31	0	31	0	0	0	31	
名鉄 本宿		0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	44	
岡崎市	14205	JR 岡崎	82	83	0	37	0	202	82	83	0	37	0	202
		JR 岡崎	67	266	71	444	81	929	67	266	71	391	106	901
	14206	名鉄 美合	53	0	0	47	0	100	53	0	0	47	0	100
		名鉄 東岡崎	53	0	0	0	0	53	53	0	0	0	0	53
	14207	JR 岡崎	242	305	101	263	23	934	242	167	101	334	23	867
		名鉄 東岡崎	27	0	0	47	0	74	27	0	0	47	0	74
	14105	名鉄 美合	33	305	0	271	1,352	1,961	30	207	0	241	1,483	1,961
		JR 岡崎	93	213	37	78	93	514	93	213	37	78	93	514
		名鉄 藤川	0	0	0	37	438	475	0	0	0	37	377	414
		名鉄 男川	0	0	0	40	40	80	0	0	0	40	40	80
		JR 安城	0	47	0	0	0	47	0	0	0	0	0	47
		地下鉄 名古屋	0	0	0	0	0	0	0	39	0	0	0	39
		名鉄 本宿	0	427	0	119	1,017	1,563	46	360	0	89	1,101	1,596
	14106	名鉄 名電山中	0	101	0	103	265	469	0	0	0	103	265	368
		名鉄 美合	0	80	0	0	0	80	0	136	0	0	0	136
JR 岡崎		0	39	0	0	0	39	0	72	0	0	0	72	
西尾市	14307	JR 幸田	162	145	42	31	0	380	162	103	42	31	0	338
		JR 岡崎	50	180	0	0	0	230	42	166	0	0	0	208
		名鉄 西尾	0	112	31	41	0	184	0	41	31	41	0	113
		名鉄 桜町前	0	0	0	113	0	113	0	0	0	113	0	113
		JR 安城	0	73	0	0	0	73	0	73	0	0	0	73
		名鉄 碧海桜井	0	89	0	0	0	89	0	41	0	0	0	41
		JR 西岡崎	0	34	0	0	0	34	0	34	0	0	0	34
		名鉄 西尾口	0	0	0	31	0	31	0	0	0	31	0	31
		愛知環状 岡崎	0	31	0	0	0	31	0	31	0	0	0	31
幡豆町	14403	名鉄 西幡豆	0	38	0	77	234	349	0	38	0	77	234	349
		名鉄 東幡豆	0	0	0	210	46	256	0	0	0	210	0	210
		JR 三ヶ根	0	109	0	0	0	109	0	109	0	0	0	109
		名鉄 三河鳥羽	0	0	27	28	39	94	0	0	27	28	68	123
		名鉄 こどもの国	0	0	0	0	40	40	0	0	0	0	40	40
名鉄 西尾	0	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	33		
吉良	14405	名鉄 上横須賀	0	42	42	304	103	491	0	84	42	304	0	430
		名鉄 西尾	0	89	0	0	0	89	0	56	0	0	0	56
蒲郡市	14607	JR 蒲郡	0	194	31	289	51	565	0	168	73	248	87	576
		JR 三河塩津	0	141	0	42	355	538	0	141	0	42	306	489
		名鉄 蒲郡競艇場前	0	0	0	0	39	39	0	0	0	0	39	39
		名鉄 東岡崎	26	0	0	0	0	26	26	0	0	0	0	26
	14608	JR 三河塩津	0	76	0	41	164	281	0	76	0	41	164	281
		JR 三ヶ根	0	125	36	0	64	225	0	125	36	0	0	161
		名鉄 形原	0	0	0	42	0	42	0	0	0	42	0	42
JR 幸田	0	39	0	0	0	39	0	39	0	0	0	39		

出典：第4回中京都市圏パーソントリップ調査